

公務員試験 技術系 ガイドブック 関西版

2024・25 年度
受験用



制作：LEC 大阪公務員課

れっく **LEC** 東京リーガルマインド



0 001113 230049

KM23004

目 次

1. 技術系公務員の主な職種と業務内容	3
2. 分野別 国家総合職・一般職, 地方上級の業務内容	5
3. 試験概要	9
4. 採用区分別 試験日程早見表	1 2
5. 主な職種の試験要項	1 8
・国家公務員総合職	1 8
・国家公務員一般職	2 2
・地方上級試験 出題科目	2 5
・参考資料<教養択一式試験 出題数一覧表>	2 6
・地方上級試験概要	2 7
・市町村採用試験概要	3 3
6. 出題例	6 0
7. 2022 年度試験実施結果	6 4

1. 技術系公務員の主な職種と業務内容

公務員と一口に言っても職種が多岐にわたります。まずはどのような職種で技術系公務員を採用しているのか、そしてどのような業務に携わることになるのかを知っておきましょう。

種別	職 種	概 要
国 家 公 務 員	国家総合職	一般に「キャリア」と呼ばれる中央省庁の幹部候補の採用試験であり、公務員試験の最高峰である。それに伴い、試験が院卒者試験と大卒程度試験に分かれることになったほか、試験内容についても変更が加わった。 試験区分は工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境に分かれ、各省庁の本省で採用される。職務は各省庁における政策の企画立案・調査・折衝、法律の制定・改正や、各省庁が設置した研究機関における研究業務などであり、まさに国を背負って立つ公務員と言える。採用後の昇進も非常に速い。勤務地は東京・霞ヶ関の本省のほか、全国に点在する各省庁の出先機関や自治体などであり、異動の範囲も全国に及ぶ。採用後の具体的な業務については、4ページ以下を参照。
	国家一般職	国家公務員の中堅幹部コース。試験区分は「土木」、「建築」、「機械」、「デジタル・電気・電子」、「化学」、「物理」、「農学」、「農業農村工学」、「林学」に分かれる。採用自体は省庁別であり、合格者は各省庁の本省のほか、主として各省庁の出先機関（支店のようなもの）に採用される。出先機関における業務内容は機関ごとに大きく異なるため、必要とされる専門能力も機関によって異なる。採用は全国単位であるが、転勤は官庁によって異なる。出先機関で採用された場合は、その管轄区域内での転勤が一般的である。 採用後の具体的な業務については、4ページ以下を参照。
	労働基準監督官B	労働基準監督署のほか厚生労働省本省、都道府県労働局に勤務し、労働者の生命と健康を守るため、労働条件の確保・改善、労働災害の防止、職業性疾病の予防を推進する。 採用試験は理工系としてB区分がまとまって設定されており、専門択一試験は数学、物理、化学だけが出題される（他に必須科目として労働事情が出題される。）。ただ、専門記述試験は、「機械」、「電気」、「土木」、「建築」、「衛生・環境」、「応用化学」、「応用数学」、「応用物理」などから1題を選択して解答する形式であり（他に必須科目として工業事情1題）、これが事実上の受験区分となる。 具体的な職務としては、工場や事業所内に立ち入り、機械・設備や帳簿の検査などから労働環境を調査し、違反があれば事業主に対して改善指導や機械・設備の使用停止などを命ずる行政処分を行う。また、工場や工事現場で重大な労働災害が発生した場合は、現場に赴き、災害の発生状況や原因を調査し、再発防止について必要な指導を行う。異動の範囲は原則都道府県内。ただし、3年目と13年目で2年ずつ他県への出向が発生する。
	食品衛生監視員	食品衛生監視員は厚生労働省の職員として、全国の主要海・空港の検疫所で輸入食品の安全監視や指導、理化学検査、微生物学的試験検査にあたるほか、検疫感染症の国内への侵入防止などに携わる。 受験資格は大学で薬学、畜産学、水産学または農芸化学の課程を修めた者に限定されている。異動の範囲は全国規模。

地 方 公 務 員	地方上級	全国 47 都道府県、および政令指定都市の幹部候補職員の採用試験。採用試験は国家一般職と同様、専門分野によって区分されるが、募集する分野は自治体ごとに異なるほか、同じ自治体であっても年度によって異なるので、注意が必要である。 業務内容は多岐にわたるが、技術系公務員が携わる業務としては、都市計画の策定、公営住宅や庁舎・公共施設の建設・管理、環境保全、道路や上下水道、港湾、公園といったインフラの設計・建設・維持・管理、農林水産業の振興等がある。採用後は、各人の専門能力を生かせる職場に配属される。 採用後の具体的な業務については、4 ページ以下を参照。
	市町村役場	政令指定都市以外の市、町、村の幹部候補職員の採用試験。業務内容等は地方上級と似ているが、より住民に近い立場で業務に携わることができる。 ただし、採用区分は国家公務員や地方上級と比べると狭い。「土木」、「建築」、「電気」、「機械」、「化学」区分での採用が中心。また、「土木」は多くの自治体で採用枠が存在し、「建築」も比較的多いが、他の区分については採用がない年も珍しくない。
独 立 行 政 法 人	国立大学 法人等	国立大学等の職員として、大学の運営に携わる。1 次試験は統一試験だが、大学ごとに採用を行うため、2 次試験は各大学で実施される。1 次試験の試験区分は、「土木」、「建築」、「機械」、「電気」、「化学」、「物理」、「電子・情報」、「資源工学」、「農学」、「林学」、「生物・生命科学」だが、年度や大学によっては採用のない区分もあるので、注意が必要である。 具体的な業務としては、教育・研究棟等の建物・設備の計画、設計、工事の発注、メンテナンスなど施設整備に関する業務や、各種研究、実験、測定、分析、検査等の技術支援業務及び学生、大学院生の実験実習の技術指導などがある。

※上記のほか、警察官（鑑識技術等）や消防官の採用試験でも技術系職員の採用試験が実施されています。
また、各都道府県が地方上級試験とは別に研究機関における研究職員を採用している場合もあります。

2. 分野別 国家総合職・一般職，地方上級の業務内容

次に，専攻分野ごとに国家総合職・一般職，地方上級ではどのような業務に携わるのかを見ていきましょう。

専攻分野	職 務 内 容 等
土木系	国家総合職：工学区分を受験する。採用先は国土交通省のほか，農林水産省，環境省，経済産業省などである。国土交通省では，道路・港湾・河川といったインフラ整備の企画・立案などに携わる。 国家一般職：主な採用先としては，国土交通省の地方整備局や農林水産省の地方森林管理局などがある。地方整備局では，堤防・砂防・ダムなどの整備を行う治水事業や道路・港湾・空港等のインフラ整備に携わる。地方森林管理局では，土砂災害の防止や復旧などのいわゆる治山事業に携わる。 地方上級：ほとんどの自治体で毎年採用があり，複数回の実施が行われているところもある。職務としては，道路の計画・建設・管理，河川の整備・管理，土地区画整理，再開発，街路などの整備，港湾の計画や建設，海岸の保全，上下水道の整備・管理，宅地造成の規制・指導などがある。自治体によっては，事務系より採用数が多い。
建築系	国家総合職：工学区分を受験する。採用先は国土交通省のほか，環境省，経済産業省などである。国土交通省では，建築関連法規の整備や住宅政策の企画・立案などに携わる。 国家一般職：主な採用先としては，国土交通省の地方整備局などがある。地方整備局では，官庁施設や国有建築物の整備計画立案・設計・工事監理・修繕などに携わる。また，官庁施設の営繕業務のため，一見建築とは無関係に思える省庁でも採用があることもある。 地方上級：ほとんどの自治体で毎年採用がある。職務は都市計画，住宅整備，建築指導，営繕など多岐にわたる。都市計画では，市街化区域・市街化調整区域の区域区分や用途地域の設定，市街地再開発事業の立案・推進などである。住宅整備では，公営住宅の建設・管理やバリアフリー住宅など優良な民間住宅の建設を促進するための政策を企画・立案・推進する。建築指導では，建築主事として建築確認や中間検査などに携わる。営繕では病院や高校などの公共施設や庁舎の設計や工事監理，修繕計画の立案・推進などにあたる。
機械系	国家総合職：工学区分を受験する。採用先は，国土交通省や特許庁，経済産業省などである。国土交通省では船舶や航空機の安全基準に関する業務に携わる。特許庁では特許審査官としての審査業務に，また経済産業省では技術関連施策の企画・立案に携わる。 国家一般職：主な採用先としては，国土交通省の地方整備局や地方運輸局，厚生労働省の地方労働局などがある。地方整備局では，官庁施設における機械設備の整備計画立案・設計・工事監理・維持管理や，道路・河川などの維持管理に必要な機械の整備に携わる。地方運輸局では，自動車検査業務に携わる。また，地方労働局では労働者の安全確保のため工場などに立ち入り，機械・設備の安全性や性能検査などに携わる。 地方上級：多くの自治体で採用がある。職務は，庁舎，学校，病院などの公共施設や公営住宅，下水道施設などにおける機械設備（空調設備，給排水設備，ガス設備等）に関する工事の企画・設計・工事監理・維持管理などである。

デジタル・電気・電子	国家総合職：デジタル区分を受験する。採用先は、従来の工学区分の情報系であれば、総務省、国土交通省、経済産業省などである。総務省ではネットワークの安全・信頼性向上といった電気通信行政に、経済産業省では電力行政などに携わる。 国家一般職：「デジタル・電気・電子」区分での受験となり、主な採用先としては、警察庁の地方警察局や総務省の地方総合通信局、財務省の地方税関、国土交通省の地方整備局などがある。地方警察局では、警察無線・コンピューターネットワークをはじめとする警察独自のネットワークの構築や、コンピューター犯罪の捜査支援などに携わる。地方総合通信局では、インターネットやデジタル放送の普及促進、電波の利用調整や不正利用の取締りなどに携わる。地方税関では、Naccs と呼ばれる通関情報処理システムのメンテナンスや改善に携わる。地方整備局では、官庁施設や国有建築物の電気設備の整備や情報通信ネットワークの構築・整備・管理などに携わる。 地方上級：地方上級では、電気職としての募集となることが多い。職務は、庁舎、学校、病院などの公共施設や公営住宅、下水道施設などにおける電気設備（受変電設備、照明設備、通信情報設備、昇降機設備等）の工事の企画・設計、工事監理、維持管理などである。情報系の採用は事務系で I C T 枠などの形で一部の自治体で採用枠がある。
数学系	国家総合職：数理科学・物理・地球科学区分を受験する。主な採用先は厚生労働省、総務省である。厚生労働省では数理計算による社会保険制度の設計業務などに、総務省では各種統計調査の企画・設計・指導などに携わる。 国家一般職：数学系専攻者を対象とした採用区分はない。 地方上級：数学系専攻者を対象とした採用区分はない。
物理系	国家総合職：数理科学・物理・地球科学区分を受験する。主な採用先は、海上保安庁、気象庁などである。海上保安庁では海図作成のための観測技術の研究調査などに、気象庁では気象観測システムの整備や防災施策の企画・立案などに携わる。 国家一般職：主な採用先としては、国土交通省の地方管区気象台などがある。地方管区気象台では、天気予報や警報・注意報の作成に携わる。 地方上級：物理系専攻者を対象とした採用区分はない。
化学系	国家総合職：化学・生物・薬学区分を受験する。主な採用先は、環境省、特許庁、経済産業省などである。環境省では公害や地球温暖化防止のための施策の企画・立案などに携わる。特許庁では特許審査官としての審査業務に、また経済産業省では技術関連施策の企画・立案に携わる。 国家一般職：主な採用先としては、財務省の地方税関や農林水産省の検疫所などがある。地方税関では薬物等の密輸を防止するため、輸入貨物の化学分析などに携わる。検疫所では、輸入食品に含まれる残留農薬や食品添加物などに対する理化学的検査などに携わる。 地方上級：ほとんどの自治体で、毎年採用があり、大阪府のように「環境職」として募集する自治体もある。職務は主に環境保全のための調査研究や、施策の企画立案である。具体的には、工場等の排水やばい煙に対する検査・指導、廃棄物対策の企画・推進、大気や水質の調査などである。また、上下水道の水質管理も重要な職務である。さらに、消費者保護のため、化粧品などに含有される化学物質の調査なども行う。中小市役所での採用は自治体によってまちまちで、毎年実施するところは少ない。

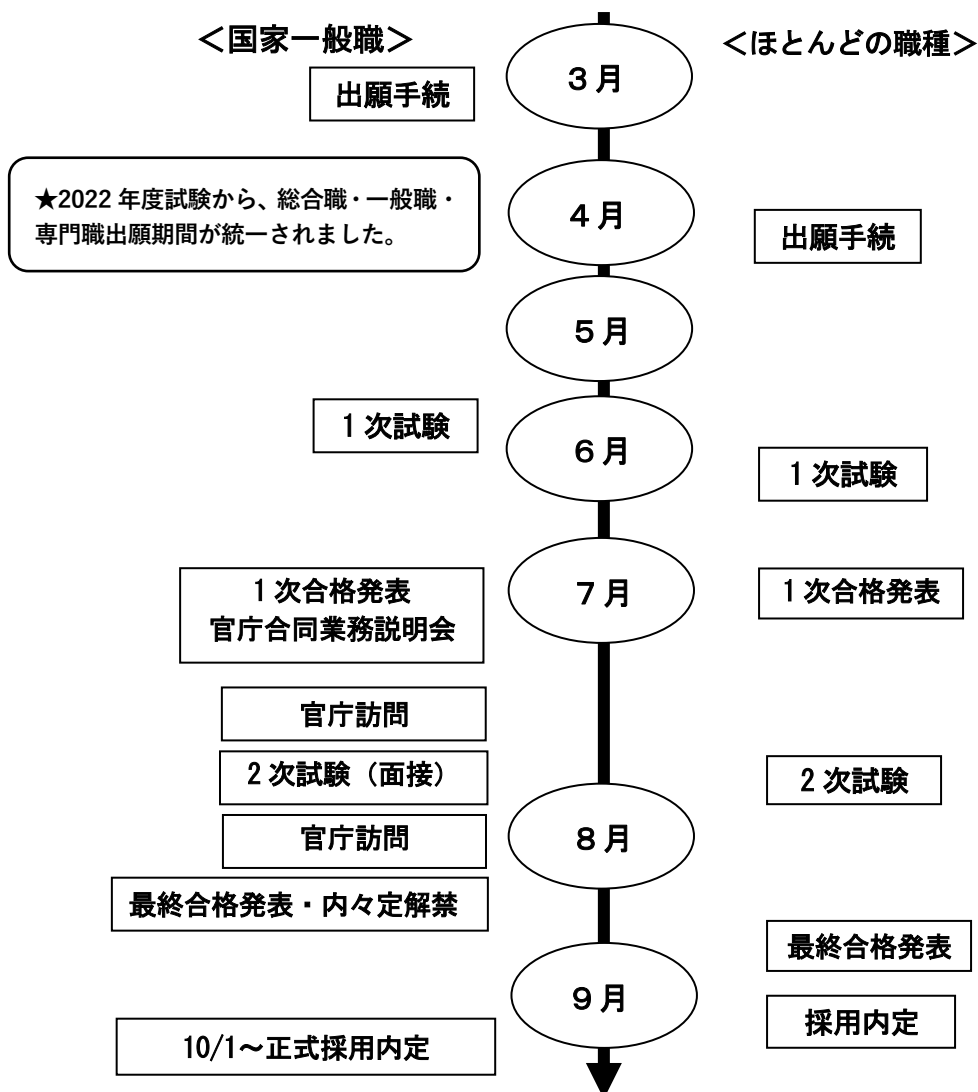
生物系	国家総合職：化学・生物・薬学区分を受験する。主な採用先は、特許庁、経済産業省、農林水産省である。特許庁では特許審査官としてバイオ関連特許の審査業務に、経済産業省ではバイオ技術関連施策に携わる。また、農林水産省では研究機関において、研究職として作物の品種改良などの研究業務に携わることもできる。 国家一般職：生物系専攻者を対象とした採用区分はない。 地方上級：神戸市役所のみ総合科学区分の中に生物専攻を対象とした区分がある。
薬学系	国家総合職：化学・生物・薬学区分を受験する。主な採用先は、特許庁や厚生労働省、文部科学省である。特許庁では特許審査官として医薬品の特許審査業務に、厚生労働省では主に薬事行政に、文部科学省では医薬品の研究環境の整備などに携わる。 国家一般職：薬学系専攻者を対象とした採用区分はないが、化学職で受験する人もいる。また、薬剤師の免許取得者または取得見込者を対象として、厚生労働省の麻薬取締部が職員採用を行っている。採用後は、麻薬取締官として不正薬物事犯を取り締まる捜査活動や、麻薬・向精神薬等の製造・流通・使用を監視指導に携わる。 地方上級：薬剤師免許の取得を条件としない薬学区分と、薬剤師の免許取得（取得見込含む）を条件とする薬剤師職の募集がある。主な職務は、本庁での薬事行政のほか、保健所における食品衛生、薬局・読劇物販売業の許認可などである。自治体によっては公立病院での服薬指導や調剤に従事する場合もある。水質調査や衛生管理など、薬学に直結しない仕事もあり、業務の詳細は自治体によって変わる。
農学系	国家総合職：農業科学・水産区分を受験する。主な採用先は、農林水産省および農林水産省系の研究機関であり、農林水産省では農業振興や食品の流通・安全・価格安定などの行政に、研究機関では研究職として品種の育成・改良などに携わる。 国家一般職：主な採用先としては、農林水産省の地方農政局や植物防疫所などがある。地方農政局では、トレーサビリティ・システムの導入をはじめとする安全な農産物の生産・加工・流通の推進、経営規模の拡大化や担い手対策といった農業構造の改善等の業務に携わる。植物防疫所では、海外からの病害虫の侵入を防ぐための輸入植物の検疫や、国内での病害虫の蔓延を防ぐための国内の種苗検疫などに携わる。 地方上級：多くの自治体で採用があるが、都市化が進んでいる政令指定都市では、採用がない場合もある。職務は、農業振興のための事業の企画立案・推進や、農業技術の普及・改良、あるいは農業技術の開発や新品種の育成などである。中小市役所の採用はまずない。
畜産系	国家総合職：農業科学・水産区分を受験する。主な採用先は、農林水産省および農林水産省系の研究機関であり、農林水産省では畜産振興や食品安全行政などに、研究機関では研究職として品種改良や繁殖技術の開発などに携わる。 国家一般職：畜産系専攻者を対象とした採用区分はないが、農林水産省が独自に国家一般職相当の採用試験を実施している。 地方上級：採用のある自治体は少ない。職務は畜産農家に対する経営・飼養技術の普及・改良や、畜産振興のための施設設置、補助事業の導入・推進などである。中小市役所での採用はないと思ってよい。

水産系	国家総合職：農業科学・水産区分を受験する。主な採用先は、農林水産省や農林水産省系の研究機関などである。農林水産省では水産庁において漁業振興や水産資源の開発、漁業に関する国際交渉などに携わる。研究機関では研究職として養殖技術の研究・開発などに携わる。 国家一般職：水産系専攻者を対象とした採用区分はないが、農林水産省が独自に国家一般職相当の採用試験を実施している。 地方上級：採用のある自治体は少ない。職務は水産行政と試験研究に分かれる。水産行政では、水産業振興のための施策を企画立案し、推進する。具体的には、水産資源の管理や漁場の整備、養殖漁業の振興などである。試験研究では、研究所に配属となり、養殖や水産加工の技術開発、科学的な資源管理の手法の開発など、水産業を支える総合的な研究に従事する。中小市役所では採用はないと思ってよい。
農業土木系	国家総合職：農業農村工学区分を受験する。採用先は、農林水産省や国土交通省などである。農林水産省では、農業用地・用水などの農業インフラ整備の企画・立案などに携わる。 国家一般職：主な採用先としては、農林水産省の地方農政局や国土交通省の地方整備局などがある。地方農政局では、農業用水の調達や農道の整備など農業基盤の整備に携わる。 地方上級：採用のある自治体とない自治体とに分かれる。採用のない自治体では、土木職と併せて採用しているケースもある。職務としては、圃場や農業用排水設備の整備、農村の道路・下水道の整備や地すべり防止工事などに携わる。具体的にはこれらの事業の基礎調査・計画立案・設計・積算・工事監理などを行う。
林学系	国家総合職：森林・自然環境区分を受験する。採用先は、農林水産省、環境省などである。農林水産省では、林業振興や国有林の管理計画の立案、治山事業の企画・立案などに携わる。環境省では、国立公園の運営方針の策定や希少動植物の保全事業の立案などに携わる。 国家一般職：主な採用先としては、農林水産省の地方森林管理局や環境省本省などがある。地方森林管理局では、国有林において、造林や林道整備といった森林整備に携わる。環境省本省では、自然保護官として国立公園の管理や希少動植物の保護などに携わる。 地方上級：採用のある自治体は少ない。特に都市化の進む政令指定都市では、ほとんど採用はない。職務は、森林・林業行政と試験研究とに分かれる。森林・林業行政は、林業の振興や森林の整備・保全、野生動物の保護管理等の施策を企画立案し、その推進にあたる。試験研究は、研究所に配属となり、木材の用途開発や新品種のキノコの育成、森林の整備についての研究等を行う。
造園系	国家総合職：森林・自然環境区分を受験する。採用先は、国土交通省、環境省などである。国土交通省では緑地の保全施策の企画立案や国営公園の整備プランの策定などに、環境省では国立公園の運営方針の策定や希少動植物の保全事業の立案などに携わる。 国家一般職：造園系専攻者を対象とした採用区分はない。 地方上級：都市化が進んでいる自治体で、しばしば採用があり、試験内容は農学に近い。職務は、都市公園の企画・設計・施工・管理や国定公園の管理、緑化事業の推進や街路樹の管理、自然環境の保護などである。

3. 試験概要

どの職種・自治体も1次試験は筆記試験が主体だ。筆記試験には択一式（5肢択一のマークシート式）の試験と記述式（論文式）の試験がある。職種・自治体によっては記述式試験が2次試験以降で課せられる場合もある。これに対して2次試験以降（自治体によっては3次試験、4次試験があるところも。）は面接試験による人物審査が中心となる。近年この面接試験の比率がどの試験種においても高まってきている。以上の試験に全て合格すれば、採用内定となるのがほとんどの職種だ。

これに対して国家一般職は最終合格したうえで、官庁訪問を経て採用面接を受け、これに合格しないと採用内定とはならない。つまり国家一般職の場合は合格＝採用内定ではないことに気をつけよう。そして、各省庁・地方支局が実施する採用面接に呼んでもらうための重要なプロセスとなるのが、1次試験合格後より始まる官庁訪問だ。ここで内々定を受けなければ採用されない。



- 択一式試験 → 教養試験＋専門試験（市役所では、教養試験が課せられないところもある）
- 記述式試験 → 国家総合職は専門記述と教養記述（政策論文）両方、国家一般職は専門記述／地方上級は教養記述試験（大阪府や堺市の様に、専門記述が課される自治体もある）
- 面接 → 地方上級や市町村役場は集団討論など多様な面接試験

(2) 試験日程

2022 年度 公務員試験 第 1 次試験日程

4 月	第 3 週	16 日(土)	大阪府 技術職 (大卒程度) ※ ¹
		17 日(日)	京都市上級 I (土木) <先行実施枠>
	第 4 週	24 日(日)	国家公務員総合職※ ²
		27 日(水)	京都府一類 総合土木<先行実施枠> ※ ³
5 月	第 1 週	1 日(日)	東京都 I 類 B, 東京都特別区 I 類
	第 3 週	15 日(日)	大阪府行政 (22-25 歳区分) ※ ⁴
6 月	第 1 週	5 日(日)	労働基準監督官 B、食品衛生監視員、 国税専門官 B ※ ⁴
	第 2 週	12 日(日)	国家一般職
	第 3 週	19 日(日)	地方上級 (府県・政令指定都市) 市町村役場 A 日程 (大阪府下の一部市役所, 和歌山市)
7 月	第 1 週	3 日(日)	国立大学法人等職員
	第 2 週	10 日(日)	市町村役場 B 日程 (滋賀県下, 兵庫県下の多くの市役所, 京都府下の一部の市役所)
9 月	第 3 週	18 日(日)	市町村役場 C 日程 (大阪府下, 京都府下, 奈良県下, 和歌山県下の多くの市役所, 兵庫県下の一部市役所)
10 月	第 3 週	16 日(日)	市町村役場 D 日程 (一部の市役所)

※¹ 正確には、4/16～5/1 の期間において、SPI3 を実施する (テストセンター形式)。

※² 2023 年以降の試験においては、試験日程の前倒しが発表されている。

【2023 年の総合職試験 (春)】

申込受付期間：3 月 1 日 (水) ～3 月 20 日 (月)

第 1 次試験日：4 月 9 日 (日)

第 1 次合格者発表日：4 月 21 日 (金)

第 2 次試験日 (筆記)：5 月 7 日 (日)

第 2 次試験日 (政策課題討議・人物)：5 月 15 日 (月) ～5 月 31 日 (水)

最終合格者発表：6 月 8 日 (木)

※³ 正確には、4/27～5/16 の期間において、SPI3 を実施する (テストセンター形式)。

※⁴ 2 次試験の論文で「情報分野」を選択して採用された場合、ICT を活用した施策の推進に関する業務など、主に情報分野の知識を活かした業務に従事できる。なお、一般行政事務に従事する場合もある。大阪府の事務と技術は併願不可。

※⁵ 2023 年度の試験から、理数系の基礎知識や素養を問う「理工・デジタル系 (国税専門官 B)」の試験区分が創設される。なお、従来の試験区分で採用された場合と同じく、税のスペシャリストとして働くことに違いはなく、あくまで税務行政の質向上のため、デジタル・ICT スキルを活用していくことが求められている。

【2022 年度（技術系・大卒レベル）年齢制限 ※(経)は経験者採用を指します】。

上限年齢	国家公務員	地方公務員
～59		京都市(経)、豊中市、明石市、枚方市(経)、東大阪市(経)
～56		奈良市(経)
～53		大東市(経)
～50		岸和田市、五條市(経)
～49		堺市(経)、泉佐野市、豊能町、(岬町) *今年度、岬町は技術系の採用はありません。
～45		寝屋川市、兵庫県(経)、大和高田市、綾部市(経)、西脇市(経)、宝塚市、京田辺市、播磨町、三田市(経)
～43		摂津市(経)、明日香村(経)、四条畷市
～41		泉南市
～40		八幡市、たつの市(経)、木津川市、大和郡山市(経)、綾部市(経)、加東市、高石市、門真市、大和郡山市(経)、尼崎市、向日市(経)、加古川市(経)、木津川市、九度山町、忠岡町(経)、大津市(経)、赤穂市、島本町、長浜町(経)
～39	農林水産省経験者採用試験（係長級（技術））、国土交通省経験者採用試験（係長級（技術））	神戸市(経)、宇陀市(経)、紀の川市、大東市、十津川村、丹波市(経)、三木市(経)、広陵町、豊中市
～35		京都府、和歌山県、亀岡市(かめおか方式)、交野市、羽曳野市、泉大津市、柏原市、京田辺市、(姫路市(経))、川西市、桜井市<土木>、和泉市、彦根市、田辺市、御坊市、岩出市、大和郡山市、加東市、香美町、和歌山県、大和郡山市、湖南市<土木A>、(印南町)、白浜町、久御山町、守山市、豊岡市、朝来市、松原市、(河合町)、新宮市 *今年度、姫路市・印南町・河合町は技術系の採用はありません。
～34		滋賀県、葛城市、阪南市、天理市、甲賀市、香芝市(経)
～32		西宮市
～30	国家総合職、国家一般職、労働基準監督官 B、食品衛生監視員、国立大学法人等職員	京都市、堺市、長岡京市<土木>、桜井市<建築>、京丹後市、湖南市<土木B>、高槻市、和泉市、五條市、伊丹市、京丹波町、舞鶴市、河内長野市、摂津市、草津市、茨木市
～29		奈良県、大阪府、大阪市、加古川市、忠岡町、五條市、松原市、(橿原市)、御所市 *今年度、橿原市は技術系の採用はありません。
～28		宮津市
～27		兵庫県、神戸市、奈良市、生駒市、たつの市、草津市、洲本市
～26		亀岡市、香芝市
～25		丹波市、向日市、三田市(経)、枚方市
～24		神戸市（特別枠）、小野市、西脇市(経)、福知山市

4. 採用区分別 試験日程早見表

採用区分別に、採用試験を実施した自治体名と1次試験の実施期日、採用予定数をまとめました。カッコ内の人数は採用予定数です。採用区分や採用予定数は年度により異なりますので、必ず受験前に自治体のホームページなどで最新情報を入手してください。2022年度大卒程度／経験者採用の情報を掲載しています。

①土 木

1次試験日	自治体名と採用予定数
4/4~4/17	兵庫県下：神戸市（特別枠若干名）（経験者春若干名）
4月中旬~5月中旬	奈良県下：奈良市（経験者含め5名）
4/17	大阪府下：堺市（経験者4名）京都府下：京都市（先行枠35名）滋賀県下：湖南市（2名）
4/24	京都府下：舞鶴市（3名）
5/10~5/23	奈良県下：大和郡山市（経験者含め3名）
5/15	京都府下：福知山市（5名）大阪府下：岸和田市（10名）
5/21~6/3	大阪府下：吹田市（15名）
5/25~6/14	大阪府下：寝屋川市（5名以内）
5/25~6/22	大阪府下：柏原市（2名）
5/27~6/9	奈良県下：橿原市（電気・機械合わせて3名）
5/30以降	奈良県下：五條市（経験者2名）
6/4~6/19	和歌山県下：有田市（建築合わせて3名）
6/11~6/12	京都府下：京丹後市（5名）
6/11~6/21	大阪府下：豊中市（2名）
6/11~6/26	大阪府下：高槻市（3名）
6/12	京都府下：木津川市（若干名）
6/14~6/27	兵庫県下：加古川市（経験者含め5名）
A日程：6/19	和歌山県下：和歌山市（7名） 兵庫県下：神戸市（5名）、明石市（建築、電気、機械、環境化学含め5名） 滋賀県下：守山市（2名程度） 京都府下：京都市（一般枠10名）
6/25	兵庫県下：小野市（若干名）
6/26	京都府下：向日市（若干名）
7/1~7/13	奈良県下：香芝市（経験者含め2名）
7/1~7/20	兵庫県下：尼崎市（若干名）
7/3	兵庫県下：伊丹市（若干名）
B日程：7/10	京都府下：京田辺市（1名） 兵庫県下：西宮市（7名）、姫路市（土木A・B合わせて12名程度） 滋賀県下：日野町（建築と合わせて2名） 大阪府下：泉南市（4名）
7/8~7/21	兵庫県下：高砂市（経験者含め4名）
7/16~7/31	奈良県下：十津川村（若干名）
7/17	兵庫県下：太子町（1名）
7/18	滋賀県下：湖南市（4名）
7/20~8/1	大阪府下：河内長野市（2名）
7/21~7/27	奈良県下：斑鳩町（1名）
7/22~8/7	大阪府下：広陵町（若干名）

7/23～7/27	大阪府下：牧方市（経験者含め13人）
7/24	滋賀県下：大津市（15名）、和歌山県下：串本町（2名）
8/3～9/13	大阪府下：千早赤阪村（2名）
8/11～8/31	兵庫県下：播磨町（若干名）
8/17～9/11	大阪府下：交野市（若干名）
8/20～8/21	大阪府下：阪南市（1名）
8/21	京都府下：福知山市（経験者3名）、亀岡市（一般とチャレンジ合わせ5名）
8/29～9/11	奈良県下：桜井市（4名）
9/4	京都府下：宇治市（若干名）
9/6～9/23	兵庫県下：神戸市（経験者秋若干名）
9/14～9/25	大阪府下：羽曳野市（2名）
9/14～9/26	大阪府下：四条畷市（3名）
9/16～9/25	大阪府下：門真市（若干名）
9/17～9/18	京都府下：京丹後市（若干名）
C日程：9/18	京都府下：長岡京市（2名）、八幡市（1名） 大阪府下：和泉市（2名）、泉大津市（1名）、松原市（5名）、高石市（若干名） 奈良県下：大和高田市（2名） 和歌山県下：橋本市（1名）、岩出市（2名）、かつらぎ町（1名）、白浜町（1名） 滋賀県下：東近江市（若干名） 兵庫県下：豊岡市（3名）、洲本市（経験者含め2名）、三木市（2名）、たつの市（若干名）、新温泉町（2名）、丹波市（1名）、佐用町（1名）、稲美町（2名）、福崎町（2名）、洲本市（経験者含め2名）、三木市（2名）
9/18～9/19	兵庫県下：赤穂市（5名）、相生市（経験者含め1程度）
9/19, 20	奈良県下：五條市（1名）
9/23～10/6	奈良県下：葛城市（1名）
9/24～10/2	大阪府下：大東市（経験者含め4名）
9/25	滋賀県下：大津市（経験者10名）
10/5～10/11	兵庫県下：三田市（経験者含め5名）
10/8～10/9	兵庫県下：明石市（電気・機械・建築・環境化学をあわせて5名）
D日程：10/16	京都府下：宮津市（若干名） 奈良県下：大淀町（1名） 和歌山県下：すさみ町（1名）
11月上旬	奈良県下：生駒市（経験者含め若干名）
11/5	滋賀県下：甲賀市（2名）
11/6	滋賀県下：守山市（2名）、近江八幡市（2名）
11/26	兵庫県下：宝塚市（氷河期時代、建築・事務含め3名）
11/27	京都府下：京都市（経験者5名）
12/4	滋賀県下：彦根市（2名） 兵庫県下：猪名川町（1名）
12/5	京都府下：伊根町（若干名）
12/11	和歌山県下：北山村（1名）

② 建 築

1 次試験日	自治体名と採用予定数
4/4～4/17	兵庫県下：神戸市（特別枠 若干名/経験者 若干名（春））
4/17	大阪府下：堺市（社会人 若干名）
4 月中旬～5 月中旬	奈良県下：奈良市（若干名）
4/24	京都府下：舞鶴市（2 名）
5/15	京都府下：福知山市（前期 1 名） 大阪府下：岸和田市（10 名）
5/25～6/24	大阪府下：寝屋川市（2 名以内）
6/4～6/19	和歌山県下：有田市（土木・建築合わせて 3 名）※経験者も合わせる
6/9～6/22	兵庫県下：加東市（若干名）
6/11 又は 6/12	京都府下：京丹後市（前期 若干名）
6/11～6/21	大阪府下：豊中市（1 名）
6/12	京都府下：木津川市（事務職を含め 若干名）
6/14～6/27	兵庫県下：加古川市（3 名）
A 日程:6/19	滋賀県下：守山市（1 名） 京都府下：京都市（一般 5 名） 和歌山県下：和歌山市（1 名） 兵庫県下：神戸市（5 名）、明石市（土木、電気、建築、機械、環境化学合わせて 10 名）
6/26	京都府下：向日市（若干名）
7/1～7/20	兵庫県下：尼崎市（若干名）
7/3	兵庫県下：伊丹市（若干名）
B 日程：7/10	滋賀県下：日野町（土木、建築合わせて 2 名） 京都府下：京田辺市（1 名） 大阪府下：泉南市（3 名） 兵庫県下：西宮市（3 名）、姫路市（若干名）
7/16～7/31	奈良県下：十津川市（若干名）
7/18	滋賀県下：湖南市（1 名）
7/25	京都府下：京田辺市（1 名）
7/21～8/1	大阪府下：河内長野市（2 名）
7/22～8/7	奈良県下：広陵町（若干名）
7/23～7/27	大阪府下：枚方市（建築、機械、化学合わせて 3 名）
7/24	滋賀県下：大津市（1 名）
8/17～9/11	大阪府下：交野市（若干名）
8/21	京都府下：福知山市（後期 3 名）
9/6～9/23	兵庫県下：神戸市（経験者 5 名（秋））
9/14～9/25	大阪府下：羽曳野市（2 名）
9/16～9/25	大阪府下：門真市（若干名）
9/17 又は 9/18	京都府下：京丹後市（後期 若干名）
C 日程：9/18	大阪府下：泉大津市（2 名）、和泉市（1 名） 兵庫県下：洲本市（2 名）、丹波市（2 名）、豊岡市（1 名）、神河町（1 名） 奈良県下：桜井市（若干名）、河合町（土木とあわせて 1 名） 滋賀県下：草津市（若干名）、東近江市（若干名） 和歌山県下：白浜町（1 名）

9/18, 19	兵庫県下：赤穂市（1名）
9/19	和歌山県下：すさみ町（1名）
9/25	滋賀県下：大津市（経験者1名）
10/5～10/11	兵庫県下：三田市（社会人 高卒と合わせて5名）
10/8, 10/9	兵庫県下：明石市（8月実施 土木、建築、電気、機械、環境化学合わせて5名）
10/16	奈良県下：大淀町（1名） 兵庫県下：三田市（高卒 社会人と合わせて5名）
11/6	滋賀県下：近江八幡市（2名）
11/7	和歌山県下：北山村（土木又は建築で1名）
11/22	奈良県下：宇陀市（1名）
11/26	兵庫県下：宝塚市（就職氷河期 3名）
11/27	京都府下：京都市（経験者 5名）
12/14	滋賀県下：彦根市（1名）

③ 電 気

1次試験日	自治体名と採用予定数
4/4～4/17	兵庫県下：神戸市（特別枠 機械と合わせて3名/経験者 機械と合わせて若干名（春））
4/24	京都府下：舞鶴市（2名）
4月中旬～5月中旬	奈良県下：奈良市（若干名）
5/5	大阪府下：岸和田市（5名）
5/21～6/3	大阪府下：吹田市（若干名）
5/27～6/9	奈良県下：橿原市（土木・機械あわせて3名）
6/14～27	兵庫県下：加古川市（2名）
6/18～6/20	兵庫県下：明石市（5名以内）
6/19	大阪府下：堺市（4名） 京都府下：京都市（10名） 和歌山県下：和歌山市（2名） 兵庫県下：神戸市（3名）
6/26	京都府下：向日市（若干名）、京田辺市（1名）
7/1～7/20	兵庫県下：尼崎市（若干名）
7/3	兵庫県下：伊丹市（若干名）
7/8～7/21	兵庫県下：高砂市（経験者含め2名）
7/10	兵庫県下：西宮市（若干名）、姫路市（若干名）
7/24	滋賀県下：大津市（3名）
9/6～9/23	兵庫県下：神戸市（経験者 機械と合わせて若干名（秋））
9/18	奈良県下：大和高田市（若干名）
9/18, 19	兵庫県下：赤穂市（機械と合わせて1名）
10/8, 9	兵庫県下：明石市（若干名）
11/6	滋賀県下：近江八幡市（1名）

④ 機 械

1次試験日	自治体名と採用予定数
4/4～4/17	兵庫県下：神戸市（経験者・特別枠 若干名）

5/21～6/3	大阪府下：吹田市（若干名）
5/27～6/9	奈良県下：橿原市（土木・電気あわせて3名）
6/18～6/20	兵庫県下：明石市（10名以内）
6/19	兵庫県下：神戸市（3名） 大阪府下：堺市（3名） 和歌山県下：和歌山市（1名） 京都府下：京都市（10名） 滋賀県下：守山市（1名）
7/1～7/20	兵庫県下：尼崎市（若干名）
7/3	兵庫県下：伊丹市（若干名）
7/8～7/21	兵庫県下：高砂市（経験者と合わせて2名）
7/10	兵庫県下：西宮市（若干名）、姫路市（若干名）
7/23～7/27	大阪府下：枚方市（経験者・新卒ともに3名以内）
7/24	滋賀県下：大津市（1名）
9/9～9/23	兵庫県下：神戸市（経験者 電気と合わせて若干名（秋））
9/18, 19	兵庫県下：赤穂市（電気とあわせて1名）
10/8～10/9	兵庫県下：明石市（電気・土木・建築・環境化学あわせて10名）
11/6	滋賀県下：近江八幡市（1名）
11/27	京都府下：京都市（経験者（5名））

⑤ 化 学

1次試験日	自治体名と採用予定数
6/14～6/27	兵庫県下：加古川市（1名）
6/18～6/20, 10/8～10/9	兵庫県下：明石市（土木・電気・建築・環境科学合わせて10名）
A日程：6/19	大阪府下：堺市（若干名） 京都府下：京都市（一般枠若干名） 和歌山県下：和歌山市（1名）
7/23～7/27	大阪府下：枚方市（電気・機械・建築合わせて経験者含め3名）
7/24	滋賀県下：大津市（2名）

⑥ その他の区分

1次試験日	自治体名と採用予定数
5/10～5/23	奈良県下：大和郡山市（技能労務職1名）
A日程：6/19	兵庫県下：神戸市（農業 若干名, 造園 3名）
7/3	兵庫県下：伊丹市（若干名）
7/1～7/20	兵庫県下：尼崎市（環境・衛生若干名/造園若干名）
7/10	兵庫県下：西宮市（造園若干名）、姫路市（獣医師・林学若干名）
8/17～9/11	大阪府下：交野市（情報若干名）
9/18	奈良県下：大和高田市（情報処理1名）

★SPIで受験できる自治体一覧（2022年）

SPI はリクルート社が実施している民間企業の採用試験における能力試験である。言語系（文章理解・国語系）と非言語系（数的処理・理数系）に分かれており、ボーダーラインは自治体によって異なる。

難易度は公務員試験の知能系（数的処理・文章理解）より大幅に低い一方で、スピードが求められるという特徴がある。また、SPI を実施する自治体でも専門試験は択一か記述の形で実施するところがほとんどなので、公務員試験対策が不要ということではない。なお、SPI の他にメジャーな能力試験として SCOA（枚方市、東大阪市、芦屋市などが実施）などがある。

【大阪府下】

4/16～5/1	大阪府
4/17	堺市（経験者）
5/21～6/3	吹田市
6/11～6/21のうちいずれか1日	豊中市
6/19	大阪市
7/20～8/1	河内長野市
9/16～9/25	門真市

【兵庫県下】

6/9～6/22	加東市
7/1～7/20	尼崎市
10/5～10/11	三田市（経験者）
12/4～12/5	猪名川町

【奈良県下】

4月中旬～5月中旬のいずれか1日	奈良市
7/16～7/31	十津川村
7/22～8/7	広陵町
9/27～10/11	三郷町

【滋賀県下】

7/24	大津市
9/18	草津市
9/25	大津市（経験者）
11/5	甲賀市

【京都府下】

5/15, 8/21	福知山市（2次試験時にSPI）
6/11～6/12 9/17～9/18	京丹後市（2次試験時にSPI）
6/26	向日市（2022年度、経験者含む）
8/21	亀岡市
10/16	宮津市

5. 主な職種の試験要項

(1) 国家公務員総合職（2022 年採用試験の場合）

① 試験概要

大卒程度試験	受験資格	日本国籍を有する者で、以下の(1) (2)のいずれかに該当する者 (1) 平成 4 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日生まれの者 (2) 平成 13 年 4 月 2 日以降生まれの者で次に掲げるもの ア 大学※1を卒業した者及び令和 5 年 3 月までに大学を卒業する見込みの者 イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者	
	試験内容	第 1 次試験	① 基礎能力試験（択一式）－40 問解答，180 分（配点比率 2/15） ② 専門択一式試験－40 問解答，210 分（配点比率 3/15）
		第 2 次試験	① 専門記述式試験－2 題，210 分（配点比率 5/15） ② 政策論文試験（記述式）－1 題，120 分（配点比率 2/15） ③ 個別面接（配点比率 3/15）
	受験資格	日本国籍を有し，平成 4 年 4 月 2 日以降生まれの者で次に掲げるもの (1) 大学院修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び令和 5 年 3 月までに 大学院修士課程又は専門職大学院の課程を修了する見込みの者 (2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者	
院卒者試験	試験内容	第 1 次試験	① 基礎能力試験（択一式）－30 問解答，140 分（配点比率 2/15） ② 専門択一式試験－40 問解答，210 分（配点比率 3/15）
		第 2 次試験	① 専門記述式試験－2 題，210 分（配点比率 5/15） ② 政策課題討議試験－約 90 分（配点比率 2/15） ③ 個別面接（配点比率 3/15）

※1 短期大学を除く。

② 出題科目

(a) 基礎能力試験

試験区分	科目・出題数
大卒程度試験 (全区分共通)	40 問必須解答 知能分野 27 題：文章理解⑪，数的処理⑫ 知識分野 13 題：自然科学③，人文科学④，社会科学③，時事③
院卒者試験 (全区分共通)	30 問必須解答 知能分野 24 題：文章理解⑧，数的処理⑫ 知識分野 6 題：自然科学①，人文科学①，社会科学①，時事③

(b) 専門択一式試験（院卒者試験・大卒程度試験共通）

試験区分	科目・出題数
デジタル	63 問出題 40 問選択解答 必須問題：基礎数学⑩、情報基礎⑦、情報と社会③ 選択必須問題：次の 17 題から 10 題以上を選択解答 計算機科学③、情報工学（ハードウェア）⑤、情報工学（ソフトウェア）⑤、情報技術④ 選択問題：選択必須問題と選択問題の合計の解答数が 20 題となるよう、次の 26 題から選択解答 線形代数・解析・確率・統計⑧、数学モデル・オペレーションズリサーチ・経営工学⑤、電磁気学②、電気工学③、電子工学③、通信工学③、制御工学②
工 学	155 問出題 40 問解答 必須問題：工学に関する基礎（数学・物理）②⑩ 選択問題：次の 27 科目（各 5 問）から 4～6 科目を選択し、そのうちから 20 問選択解答 1 技術論、2 基礎化学、3 工学基礎実験、4 情報基礎、5 電気工学、6 電磁気学、7 材料力学 [機械系]、8 流体力学 [機械系]、9 構造力学（土木）・土木材料・土木施工、10 土質力学・水理学、11 環境工学（土木）・衛生工学、12 構造力学（建築）、13 建築構造・建築材料・建築施工、14 計測工学・制御工学、15 電子工学、16 通信工学、17 機械力学、18 熱力学・熱機関 [機械系]、19 土木計画、20 建築計画・建築法規・建築設備、21 建築史・都市計画、22 材料工学（材料科学）[材料物理、材料化学]、23 材料工学（金属材料・無機材料）、24 原子力工学（原子核・放射線）、25 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）、26 船舶海洋工学（流体）[船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]、27 船舶海洋工学（構造）[船体強度・振動、船舶設計・艤装] ※8 と 10 は同時に選択できない。また、7 と 9 と 12 も同時に選択できない。
数理科学 物 理 地球科学	115 問出題 40 問解答 I 部：基礎数学・情報数学⑤ II 部：次の選択 A・B（各 10 問）から 1 つを選択 ・選択 A（数理科学系） 線形代数、解析、確率・統計 ・選択 B（物理・地球科学系） 基礎物理、地球科学 III 部：次の 17 科目 90 問から任意の 25 問を選択解答 集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）、物理数学、古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）、地球物理学、地質学
化 学 生 物 薬 学	106 問出題 40 問解答 必須問題：基礎数学・基礎物理・基礎化学・基礎生物学⑩ 選択問題：次の 16 科目（各 6 問）から 5～6 科目を選択し、そのうちから任意の 30 問解答 1. 数学・物理、2. 基礎物理化学・基礎無機化学、3. 物理化学・無機化学、4. 有機化学、5. 工業化学・化学工学、6. 分析化学・薬化学、7. 薬理学、8. 薬剤学・衛生化学、9. 食品学、10. 土壤肥料学・環境科学・農薬、11. 生化学・分子生物学、12. 応用微生物学・生物工学、13. 発生生物学・生理学、14. 細胞生物学（形態学を含む。）・放射線生物学、15. 遺伝学・進化学、16. 生態学（動物行動学を含む。）・系統分類学

農業科学 水産	140 問出題 40 問解答 I 部：生物資源に関する基礎（生物資源科学，食料事情，統計学）⑤ II 部：次の選択A・B（各 10 問）から 1 つを選択 ・選択 A（農業科学系）：農業科学に関する基礎 （農業・畜産業，生物学に関する基礎） ・選択 B（水産系）：水産学に関する基礎 III 部：次の科目から 23 科目（各 5 問）5 科目を選択し 25 問解答 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、5. 昆虫学、6. 土壤肥料学・植物生理学、7. 経済学、8. 農業資源経済学（基礎）、9. 農業資源経済学（応用）、10. 農業経営学、11. 食料政策・農業政策・農業関係法律、12. 家畜育種学、13. 家畜繁殖学、14. 家畜生理学、15. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、16. 畜産一般〔畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通〕、17. 水産経済学・水産経営学、18. 漁政、19. 漁業学・水産資源学、20. 水産海洋学・水産環境保全、21. 水産生物学・増養殖学、22. 水産化学・水産利用学、23. 水産一般〔水産物生産・水産物加工・水産物流通〕
農業農村工学	76 問出題 40 問解答 必須問題：農業農村工学に関する基礎 22 問（農業・農村一般③，農業生産・環境一般②，数学・情報処理③，農業農村工学一般⑥，応用力学④，水理学④） 選択問題：次の 9 科目（各 6 題）から 3 科目を選択し、計 18 問解答 1. 設計・施工、2. 農業水利学、3. 土地改良、4. 農村計画学・公共経済学、5. 農村環境整備、6. 機械基礎工学（機械力学及び機械要素・設計）、7. 生物生産機械工学、8. 食料機械工学・生物生産施設工学、9. 環境調節工学（農業気象学及び生物工学を含む。）
森 林 自然環境	121 問出題 40 問解答 必須問題：森林・自然環境に関する基礎 13 問（森林・自然環境に関する基礎科学④森林・自然環境の現状と基本政策⑤，森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④） 選択問題：次の 12 科目（各 9 問）から 3 科目を選択し 27 問解答 1. 森林環境科学（森林政策及び林業動向を含む。），2. 森林資源科学（森林立地及び森林保護を含む。），3. 森林生物生産科学（森林経営・育林技術・森林工学），4. 砂防学基礎，5. 砂防工学，6. 流域管理，7. 造園学原論・造園材料，8. 造園計画（自然公園）〔自然環境保全を含む。〕，9. 造園計画（都市公園）〔都市計画を含む。〕，10. 木材特性・木質構造（木材需給を含む。），11. 木材加工・材質改良，12. 木材成分利用（特用林産を含む。）

(c) 専門記述式試験（院卒者試験・大卒程度試験共通）

試験区分	科目・出題数
デジタル	次の6題から2題を選択解答 情報工学（ハードウェア）②、情報工学（ソフトウェア）②、計算機科学①、情報技術① ※同じ科目から2題選択可。
工 学	選択問題 1題または2題 次の27科目から2科目各1題，計2題を選択解答。ただし，1（建築設計）または2（都市設計）を選択する場合は1科目1題のみを解答。 1. 建築設計①、2. 都市設計①、3. 計測工学①、4. 制御工学②、5. 電磁気学・電気回路①、6. 電気機器①、7. 電力工学①、8. 電子工学①、9. 通信工学①、10. 信頼性工学①、11. 材料力学〔機械系〕①、12. 機械力学①、13. 流体力学〔機械系〕①、14. 熱力学・熱機関〔機械系〕①、15. 航空工学①、16. 構造力学（土木）①、17. 土質力学①、18. 水理学①、19. 土木計画③、20. 環境工学（土木）・衛生工学②、21. 材料工学（材料科学）〔材料物理、材料化学〕①～②、22. 材料工学（金属材料）①～②、23. 材料工学（無機材料）①、24. 原子力工学（原子核・放射線）①、25. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）①～②、26. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕①～②、27. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動、船舶設計・艤装〕①～② ※11と16，13と18，19と20は，それぞれ同時選択不可。
数理科学 物理 地球科学	次の科目から15題出題，そのうちから任意の2題を選択解答 代数、幾何、解析、確率・統計⑤、情報科学①、数学モデル①、 経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）①、 古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）③、 地球物理学②、地質学② ※同じ科目から2題選択可
化 学 生 物 薬 学	次の科目から19題出題，そのうちから任意の2題を選択解答 物理化学②，無機化学①，有機化学①，分析化学①，化学工学①，薬化学①，薬理学①， 薬剤学①，食品学①，土壤肥料学・農薬①，生化学①，分子生物学・生物工学①，応用微生物学①，発生生物学①，生理学①，細胞生物学（形態学含む。）①，遺伝学①，生態学（動物行動学含む。）① ※同じ科目から2題選択可
農業科学 水 産	次の20科目（各1題）から2科目を選択解答 1. 作物学，2. 園芸学，3. 育種遺伝学，4. 植物病理学，5. 昆虫学，6. 農業資源経済学， 7. 農業経営学，8. 食料政策・農業政策，9. 家畜育種学，10. 家畜繁殖学，11. 家畜生理学， 12. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学，13. 漁業学，14. 水産資源学， 15. 水産海洋学，16. 水産環境保全，17. 水産生物学，18. 増養殖学，19. 水産化学，20. 水産利用学
農業農村工学	次の9科目（各1題）から2科目を選択解答 1. 設計・施工，2. 農業水文学，3. 土地改良，4. 農村計画学，5. 農村環境整備，6. 公共経済学， 7. 生物生産機械工学，8. 食料機械工学・生物生産施設工学，9. 環境調節工学〔農業気象学及び生物工学を含む。〕
森 林 自然環境	次の4科目（各3題）から1科目選択し，任意の2題を選択解答 1. 森林科学に関する基礎，2. 国土保全に関する基礎，3. 自然環境・公園緑地に関する基礎， 4. 木材等林産物に関する基礎

(2) 国家公務員一般職（2022 年採用試験の場合）

① 試験概要

受験資格	日本国籍を有する者で以下の①，②のいずれかに該当する者 ① 平成 4 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日に生まれた者 ② 平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた者で，大学・短大・高専を卒業した者 （卒業見込者を含む）	
採用予定数	電気電子情報：250 名、機械：130 名、土木：430 名、建築：90 名 物理：190 名、化学：130 名、農学：170 名、農業農村工学：50 名、林学：110 名	
試験内容	第 1 次試験	① 基礎能力試験（択一式）－40 問解答，140 分（配点比率 2/9） ② 専門択一式試験－建築以外の区分→40 問解答，180 分（配点比率 4/9） 建築→33 問解答，120 分（配点比率 2.5/9） ③ 専門記述式試験－建築以外の区分→1 題，60 分（配点比率 1/9） 建築→1 題，120 分（配点比率 2.5/9）
	第 2 次試験	個別面接（配点比率 2/9）

② 出題科目

(a) 基礎能力試験

試験区分	科 目 ・ 出 題 数
全区分共通	40 題解答 知能分野 27 題：文章理解⑪，数的処理⑩（判断推理⑧，数的推理⑤，資料解釈③） 知識分野 13 題：自然科学，人文科学，社会科学，時事

(b) 専門択一試験

試験区分	科 目 ・ 出 題 数
土 木	40 問必須解答 工学の基礎⑫，構造力学(土木)・水理学・土質力学・測量⑪， 土木材料・土木設計・土木施工③，土木計画④，環境工学(土木)・衛生工学②
建 築	33 問必須解答 工学の基礎⑫，構造力学(建築)・建築構造④，建築材料・建築施工②，環境工学(建築)・建築設備③，建築史・建築計画・建築法規・都市計画④
機 械	40 問必須解答 工学の基礎⑫，材料力学④，機械力学④，流体力学④，熱工学④， 機械設計・機械材料・機械工作④
デジタル・ 電気・電子	44 問出題 40 問解答 【必須問題】工学の基礎⑫，情報・通信工学（理論）⑧，電磁気学・電気回路・電気計測・制御・電気機器・電力工学⑧ 【選択問題】次の選択 A，B から 1 つ選択 選択 A 情報工学（プログラミング）④ 選択 B 電子工学・電子回路④
化 学	44 問出題 40 問解答 必須問題：数学・物理⑨，物理化学・分析化学・無機化学・有機化学・工業化学⑭ 選択問題：生物化学④，化学工学④の 8 問から 4 問選択解答

物 理	50 問出題 40 問解答 必須問題：物理（物理数学を含む基礎的な物理）⑩ 選択問題：応用物理（現代物理等）⑩，地球物理⑩の 20 問から 10 問選択解答
農 学	40 問必須解答 栽培学汎論⑦，作物学⑦，園芸学⑦，育種遺伝学③，植物病理学③，昆虫学③，土壤肥科学・植物生理学④，畜産一般③，農業経済一般③
農業農村工学	40 問必須解答 数学③，水理学④，応用力学④，土壤物理・土質力学②，測量②，農業水文学・土地改良・農村環境整備⑬，農業造構・材料・施工⑦，農業機械②，農学一般③
林 学	40 問必須解答 林業政策⑦，林業経営学⑦，造林学⑪，林業工学④，林産一般⑥，砂防工学⑤

(c) 専門記述式試験

試験区分	科 目 ・ 出 題 数
デジタル・電気・電子	情報工学・通信・電気・電子に関する領域 1 題
土 木	土木工学に関連する領域 1 題
建 築	建築設計製図 1 題
機 械	機械工学に関連する領域 1 題
化 学	化学に関連する領域 1 題
物 理	物理に関連する領域 1 題
農 学	農学に関連する領域 1 題
農業農村工学	農業農村工学に関連する領域 1 題
林 学	林学に関連する領域 1 題

(3) 労働基準監督官 B（理工系）

受験資格	日本国籍を有する者で以下の①，②のいずれかに該当する者 ① 平成 4 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日に生まれた者 ② 平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた者で，大卒または大卒見込者 また，人事院が上記に挙げる者と同等の資格があると認める者	
採用予定数	40 名	
試験内容	第 1 次試験	① 基礎能力試験（択一式）－40 問解答，140 分（配点比率 2/7） ※出題科目は国家一般職と同じ ② 専門択一式試験－40 問解答，140 分（配点比率 3/7） ※必須問題－労働事情（8 問） 選択問題－工学に関する基礎（数学，物理，化学） （38 問中 32 問選択解答） ③ 専門記述式試験－2 題（4～6 題出題），120 分（配点比率 2/7） ※必須問題－工業事情（1 題） 選択問題－工学に関する専門基礎（機械系，電気系，土木系，建築系，衛生・環境系，応用化学系，応用数学系，応用物理系等の工学系の専門工学に関する専門基礎分野）から 3～5 題出題し，うち 1 題選択
	第 2 次試験	① 個別面接 ② 身体検査

(4) 食品衛生監視員

受験資格	日本国籍を有する者で以下の①、②のいずれかに該当する者	
	① 平成4年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者で、大学で薬学、畜産学、水産学または農芸化学の課程を修め卒業した者または卒業見込者（食品衛生監視員の養成施設で所定の課程を修了した者または修了見込者含む） ② 平成13年4月2日以降に生まれた者で、大学で薬学、畜産学、水産学または農芸化学の課程を修め、卒業した者または卒業見込者（食品衛生監視員の養成施設で所定の課程を修了した者または修了見込者で、大卒または大卒見込者含む）	
採用予定数	45名	
試験内容	第1次試験	① 基礎能力試験（択一式）－40問解答，140分（配点比率1/4） ② 専門記述式試験－6題出題3題解答，100分（配点比率2/4） ※ 分析化学または食品化学のいずれか1題選択 微生物学または毒性学のいずれか1題選択 公衆衛生学または食品衛生学のいずれか1題選択
	第2次試験	個別面接（配点比率1/4）

(5) 国税専門官B（理工・デジタル区分）※2023年度試験より創設

受験資格	日本国籍を有する者で以下の①、②のいずれかに該当する者	
	① 平成4年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者 ② 平成13年4月2日以降に生まれた者で、大卒または大卒見込者 また、人事院が上記に挙げる者と同等の資格があると認める者	
採用予定数	未発表（22年12月現在）	
試験内容	第1次試験	① 基礎能力試験（択一式）－40問解答 ② 専門試験（択一式）－58問中40問解答 <必須> 民法・商法②，会計学②，基礎数学⑩ <選択式> 次の6科目42問から24問を選択 情報数学・情報工学⑩，統計学⑥，物理⑧，化学⑥，経済学⑥，英語⑥ ③ 専門記述式試験－6題出題3題解答 科学技術に関連する領域
	第2次試験	個別面接

(6) 国立大学法人等職員

① 試験概要

受験資格	平成4年4月2日以降に生まれた者	
採用予定数 （近畿地区）	15名 電気－2名，機械－4名，生物・生命科学－1名，建築－4名，電子・情報－1名， 農学－2名 ※この他に複数職種から1人採用などの職種がある	
試験内容	第1次試験	教養試験－40問必須解答，120分 文章理解⑦，数的処理⑬（判断推理⑧，数的推理及び資料解釈⑤）， 社会科学⑦，人文科学⑦，自然科学⑥

※第1次試験合格後に、各国立大学法人等が個別に実施する採用試験を受験する。採用試験の内容は、大学等により異なる。

(6) 地方上級試験 出題科目

① 出題科目

※最も一般的な出題例を示したものであり、具体的な出題科目・出題数は自治体により差異がある場合があります。詳細は各自治体の試験要項を参照してください。

※丸数字は出題数です。

試験種目	区 分	科 目 ・ 出 題 数
教養択一	全区分 共通	50 題中 40 題解答 知能系 25 題（全問必須）文章理解⑨，数的処理⑩ 知識系 15 題（25 問中 15 問選択）自然科学⑦，人文科学⑥，社会科学⑫
専門択一	土 木	40 題解答 数学・物理⑩，応用力学③，水理学④，土質工学④，測量②，材料・施工②， 都市計画②，土木計画⑥，農業水利・土地改良・農村環境整備⑦
	建 築	40 題解答 数学・物理⑩，材料学②，構造力学⑤，環境原論④，建築史②，建築構造④， 建築計画⑤，都市計画③，建築設備②，建築施工③
	機 械	40 題解答 数学・物理⑩，材料力学④，流体力学④，熱力学④，電気工学②，機械力学④， 機械設計⑥，機械材料③，機械工作③
	電 気	40 題解答 数学・物理⑩，電磁気学・電気回路⑩，電気計測・制御④， 電子機器・電気工学⑥，電力工学⑥，情報・通信工学④
	化 学	40 題解答 数学・物理⑦，物理化学⑨，分析化学③，無機化学・無機工業化学⑥， 有機化学・有機工業化学⑨，化学工学⑥
	農 学	40 題解答 栽培学汎論⑤，作物学④，園芸学④，農業経済一般②，育種遺伝学④， 植物病理学④，昆虫学④，土壤肥料学④，植物生理学④，畜産一般②， 食品科学③
	農業土木	40 題解答 数学③，応用力学③，水理学④，測量②，土壤物理②，農業水利⑤，土地改良 ⑤，農地造成②，農業造構⑤，材料・施工②，農業機械③，農学一般④
	林 学	40 題解答 森林政策・森林経営学⑬，造林学⑫，林業工学④，林産一般⑤，砂防工学⑥
	畜 産	40 題解答 家畜育種学⑤，家畜繁殖学④，家畜生理学④，家畜飼養学④，家畜栄養学④， 飼料学③，家畜管理学⑥，畜産物利用学⑤，畜産経営一般⑤
	水 産	40 題解答 水産事業・経済・法規⑧，水産環境科学⑤，水産生物学⑤，水産資源学④， 増養殖学④，漁業学④，水産化学⑤，水産利用学⑤
	薬 学 薬剤師	40 題解答 物理・化学・生物⑫，衛生⑥，薬理⑤，薬剤⑥，病態・薬物治療⑤， 法規・制度⑥

参考資料＜教養択一式試験 出題数一覧表＞

* 表内の太字・斜体は必須科目を表しています。なお、試験内容は変更されることがあります。必ず試験要項でご確認下さい。

			国家総合 職・ (大卒)	国家総合 職・ (院卒)	国家一般職	国立大学法人	地方上級
一般知能分野	文章理解	現代文	4	3	6	3	3
		英 文	7	5	5	4	5
		古 文					1
	数の処理	判断推理	7	16	8	8	9
		数の推理	7		5	5	6
		資料解釈	2		3		1
		空間概念					
知能小計		出題数	27	24	27	20	25
		解答数	27	24	27	20	25
一般知識分野	自然科学	数 学		1		1	1
		物 理	1		3	1	1
		化 学	1			1	2
		生 物	1			2	2
		地 学			1	1	
	人文科学	思 想	1	1	1	1	
		文学芸術					
		日本史	1		1	2	2
		世界史	1		1	2	2
		地 理	1		1	2	2
	社会科学	法律政治	2	1	2	2	4
		経 済	1		1	3	2
		社 会					
		時 事	3	3	3	2	6
		人権問題					
		国 語					
		英 語					
	特有問題						
知識小計		出題数	13	6	13	20	25
		解答数	13	6	13	20	15
教養合計		出題数	40	30	40	40	50
		解答数	40	30	40	40	40

※「社会科学」の「社会」は時事の意味で出題されているケースも多い（地上・全国型など）。

※「社会事情」の表記がある試験の問題は「時事」にまとめた。

② 地方上級試験概要（2022 年度試験）

※近畿 2 府 4 県の自治体別の試験概要です。採用区分や採用予定数は年度により異なります。また、試験制度に変更が加わる場合もあります。必ず自治体のホームページなどで最新情報を入手してください。

【大阪府 技術（大卒程度）】

受験資格	次のア、イのいずれかに該当する者 ア 令和 5 年 3 月 31 日現在、22 歳から 29 歳の人 ※平成 5 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた人（学歴・職務経験不問） イ 令和 5 年 3 月 31 日現在、21 歳以下の人（平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた人）で、学校教育法に基づく大学（短期大学を含む）若しくは高等専門学校を卒業した人（令和 5 年 3 月までに卒業する見込みの人を含む）若しくは同法に基づく専門職大学の前期課程を修了した人（令和 5 年 3 月までに修了する見込みの人を含む）又はこれらと同等の資格があると人事委員会が認める人	
採用予定数	土木－35 名程度，建築－10 名程度，機械－5 名程度，環境（水産分野を含む）－10 名程度，電気－1～3 名，農学－5 名程度，農業工学－1～3 名，林学－1～3 名	
試験内容	第 1 次試験	① SPI3（※2022 年度よりテストセンター形式で実施） ② エントリーシート ③ 個別面接
	第 2 次試験	① 専門記述式試験 ② 個別面接

【大阪市 技術（大卒程度）】

受験資格	次の A 又は B のいずれかに該当する方 A：平成 5 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日 までに生まれた方 B：平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、学校教育法に基づく大学（短期大学を除く）を卒業した方（令和 5 年 3 月まで に卒業する見込みの方を含む）又はこれ と同等の資格があると人事委員会が認める方	
採用予定数	都市建設－30 名程度，建築－30 名程度，機械－5 名程度，電気－5 名程度，化学－数名程度，造園－10 名程度	
試験内容	第 1 次試験	① 適性試験（SPI3）－70 分程度 ② 専門試験（主として択一式）－90 分
	第 2 次試験	① 口述試験（個別面接）

【堺市 大卒程度（4 月）】

受験資格	次の①、②のいずれかに該当する人 ① 平成 4 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた人（学歴不問） ② 平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学（短期大学を除く）を卒業した人（令和 5 年 3 月 31 日までに卒業見込みの人を含む）又はこれと同等の資格があると堺市人事委員会が認める人	
採用予定数	土木（農学・造園）－7 名程度，建築－若干名，	
試験内容	第 1 次試験	① 適性検査（SPI3）－70 問・70 分

	第2次試験	① 専門記述 建築：120分－3問解答 ※3問中2問選択解答（各400字）・1問必須解答（800字）（配点150点）、 土木：60分－1問必須解答（800字）（配点100点） ② 個別面接（配点300点）
--	-------	---

※同市が6月に実施する試験と重複して申し込むことはできない（試験区分問わず）。

【堺市 技術（大卒程度6月）】

受験資格	次の①、②のいずれかに該当する人 ① 平成4年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人（学歴は問いません。） ② 平成13年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学（短期大学を除く）を卒業した人（採用予定日の前日までに卒業見込みの人を含む。）又はこれと同等の資格があると堺市人事委員会が認める人	
採用予定数	機械－3名程度，電気－4名程度，化学－若干名	
試験内容	第1次試験	① 基礎能力試験（択一式・30問・90分）（配点60点）
	第2次試験	① 専門記述－60分（800字以内）（配点100点） ② 個別面接（配点300点）

※同市が4月に実施する試験と重複して申し込むことはできない（試験区分問わず）。

【堺市（就職氷河期世代）】

受験資格	次の①から③の要件を全て満たす人 ① 昭和48年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた人 ② 令和4年5月2日以前1年間に正規雇用労働者として雇用されていない人 ③ 令和4年5月2日以前5年間に正規雇用労働者としての雇用期間が通算1年以下の人	
採用予定数	土木（農学・造園）－若干名，建築－若干名	
試験内容	第1次試験	① 適性検査（SPI3）－90問程度70分（配点100点）
	第2次試験	① 専門試験－60分（800字）（配点100点） ② 個別面接（配点300点）

【兵庫県 行政A（大卒）】

受験資格	日本国籍を有し，かつ以下の①，②のいずれかに該当する者 ① 平成7年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者 ② 平成13年4月2日以降に生まれた者で，大卒（短大を除く）または大卒見込者 ※ 環境科学職は環境衛生指導員の任用資格が必要		
採用予定数	農学－15名程度，林学－4名程度，水産－1名程度，環境科学－2名程度， 総合土木－15名程度，建築－5名程度，機械－2名程度，電気－2名程度		
試験内容	第1次試験	① 専門択一式試験－40問必須解答，120分 ※ 総合土木職・農学は60問中40問解答 ② 論文試験－1問1,200字，90分	配点 300点
	第2次試験	① 面接試験（個別面接） ② 適性検査（SPI3）※配点なし	配点 450点

【神戸市 大卒程度特別枠】

受験資格	平成10年4月2日以降に生まれた人 ただし、大学院を修了した人又は令和5年3月までに修了する見込みの人及び学校教育法第87条第2項に該当する課程を卒業した人又は令和5年3月までに卒業する見込みの人は、平成8年4月2日以降に生まれた人	
採用予定数	土木一約3名，建築一若干名，総合設備（電気・機械）一約3名	
試験内容	第1次試験	① 適性検査（SPI3）－基礎能力試験 35 分（配点 100 点）、 性格検査 30 分（配点なし）
	第2次試験	① 個別面接（Web 実施、配点 200 点） ※第2次試験の合格者は、第2次試験の成績により決定する。
	第3次試験	① 個別面接（配点 200 点） ② グループワーク（配点 100 点） ③ 時事問題－択一式 30 分（配点 30 点） ④ 論文－60 分（配点 50 点） ※第3次試験の合格者は、第2次試験と第3次試験の総合成績により決定する。

【神戸市 大卒程度一般枠】

受験資格	平成7年4月2日以降に生まれた人 ただし、大学院を修了した人又は令和5年3月までに修了する見込みの人及び学校教育法第87条第2項に該当する課程を卒業した人又は令和5年3月までに卒業する見込みの人は、平成5年4月2日以降に生まれた人	
採用予定数	土木一約5名，建築一約5名，総合設備（電気・機械）一約3名，総合科学（化学・生物・環境・獣医・畜産・水産・生命科学・薬学）一約5名，農業一若干名，造園一約3名，水道技術（土木・電気・機械）一約5名	
試験内容	第1次試験	① 教養択一式試験－45 問中 40 問解答，150 分（配点 160 点） ② 専門択一式試験－25 問必須解答，80 分（配点 140 点） ③ 適性検査－約 30 分（配点なし）※自宅等で受験
	第2次試験	① 個別面接（配点 200 点） ※第2次試験の合格者は、第1次試験の得点を2分の1に換算し、第2次試験との総合成績により決定する。
	第3次試験	① 個別面接（配点 200 点） ② 論文（配点 100 点） ③ グループワーク（配点 100 点） ※第3次試験の合格者は、第1次試験の得点の2分の1に換算し、第2次試験と第3次試験の総合成績により決定する。

【京都府（一類）総合土木（先行実施枠）】

受験資格	日本国籍を有し、次のいずれかに該当する人 ① 昭和 57 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた方（学歴不問） ※令和 5 年 4 月 1 日現在における年齢が 22 歳～40 歳の方 ② 平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、次に該当する方 ア 学校教育法における大学（短期大学を除く）もしくは高等専門学校を卒業した方 または令和 5 年 3 月末日までに卒業見込みの方 イ 人事委員会が上記アに該当する方と同等の資格があると認める方	
採用予定数	15 名程度 ※うち、土木系 10 名程度、農業土木系 5 名程度を予定	
試験内容	第 1 次試験	① 基礎能力試験（SPI3）（配点 75 点） ※テストセンター形式での実施 ② 専門試験（配点 150 点） ※専門性確認シートに、これまで学んできた総合土木の専門知識を記述する試験 ③ 面接カード（配点なし） ※二次試験の口述試験の資料として提出するもの
	第 2 次試験	① 適性検査（配点なし） ② 個別面接（配点 500 点）※同日に 2 回実行する

※同府が 6 月に実施する試験との併願が可能。

【京都府（一類）技術系 総合土木（大卒程度 6 月）】

受験資格	日本国籍を有し、次のいずれかに該当する人 ① 昭和 57 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた方（学歴不問） ※令和 5 年 4 月 1 日現在における年齢が 22 歳～40 歳の方 ② 平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、次に該当する方 ア 学校教育法における大学（短期大学を除く）もしくは高等専門学校を卒業した方 または令和 5 年 3 月末日までに卒業見込みの方 イ 人事委員会が上記アに該当する方と同等の資格があると認める方	
採用予定数	30 名程度 ※土木系 25 名程度、農業土木系 5 名程度を予定	
試験内容	第 1 次試験①	① 基礎能力試験（SPI3）（配点 75 点） ② 専門試験（配点 150 点）※多肢選択式 ③ 論文試験（配点 100 点）※採点は 2 次試験で行う
	第 1 次試験②	④ 適性検査（配点なし） ⑤ 集団面接（配点 125 点）
	第 2 次試験	① グループワーク（配点 100 点） ② 個別面接（配点 300 点）

※同府が 4 月に実施する試験（先行実施枠）との併願が可能。

【京都府（一類）技術系（大卒程度 6 月）】 ※総合土木以外

受験資格	日本国籍を有し、次のいずれかに該当する人 ① 昭和 62 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた方（学歴不問） ※令和 5 年 4 月 1 日現在における年齢が 22 歳～35 歳の方 ② 平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、次に該当する方 ア 学校教育法における大学（短期大学を除く）もしくは高等専門学校を卒業した方 または令和 5 年 3 月末日までに卒業見込みの方 イ 人事委員会が上記アに該当する方と同等の資格があると認める方	
採用予定数	電気・電子・情報工学－5 名程度，電気・電子・情報（警察）－若干名，機械－若干名， 建築－5 名程度，化学－5 名程度，農業－10 名程度，畜産－若干名，林業－10 名程度， 水産－若干名，環境－若干名	
試験内容	第 1 次試験①	① 教養試験（配点 75 点） ② 専門試験（配点 150 点）※多肢選択式 ③ 論文試験（配点 100 点）※採点は 2 次試験で行う
	第 1 次試験②	④ 適性検査（配点なし） ⑤ 集団面接（配点 125 点）
	第 2 次試験	① グループワーク（配点 100 点） ② 個別面接（配点 300 点）

※同府が 4 月に実施する試験（先行実施枠）との併願が可能。

【京都市 上級 I 一般技術職（土木）＜先行実施枠＞】※1

受験資格	平成 4 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日に生まれた者（国籍・学歴不問）	
採用予定数	約 35 名	
試験内容	第 1 次試験	① 基礎能力検査※2－60 分 ② 専門性確認シート※3－90 分
	第 2 次試験	① プレゼンテーション※4 ② 個別面接

※1 同市が 6 月に実施する試験との併願が可能。

※2 出題分野は、言語能力、数理的能力、論理的思考力及び英語知識。

※3 試験当日に配付される市政に関する資料をもとに、自身の土木の専門知識をどのように生かしていきたいかを問うもの（課題は試験当日に発表される）。

※4 一次試験で回答した「専門性確認シート」の内容に沿って 3 分程度のプレゼンテーションを行う。

【京都市 上級 I 一般技術職（6 月）】

受験資格	平成 4 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日に生まれた者（国籍・学歴不問）	
採用予定数	土木－約 10 名，建築－約 15 名，電気－約 10 名，機械－約 10 名，化学－若干名，造園 －若干名，蓄水産－若干名，農業－約 5 名，農林整備－若干名，環境－約 5 名	
試験内容	第 1 次試験	① 教養択一式試験－30 問全問解答，90 分 ② 専門択一式試験－40 問全問解答，105 分 ③ 作文試験－600 字以内 40 分 ※採点は 2 次試験で行う
	第 2 次試験	④ 個別面接 ※第 2 次試験の可否は作文と個別面接の総合実績により決定する

※同市が 4 月に実施する試験（先行実施枠）との併願が可能。

【滋賀県 上級（大卒程度）】

受験資格	以下の①，②のいずれかに該当する者 ① 昭和63年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者（学歴不問） ② 平成13年4月2日以降に生まれた者で，大卒（短大を除く）または大卒見込者	
採用予定数	化学－5名程度，農業－9名程度，林業－6名程度，水産－2名程度，建築－6名程度，電気－6名程度，機械－1名程度，総合土木－12名程度	
試験内容	第1次試験①	① 教養択一式試験－47問中40問解答，120分（配点100点） ② 専門択一式試験－40問必須解答，120分（配点100点） ※総合土木は45問中40問解答
	第1次試験②	③ 個別面接（配点100点）
	第2次試験	① 論文試験－90分（配点100点） ② 口述試験（個別面接及び集団討論、配点300点） ③ 適性検査（配点なし）

【奈良県 I種（大卒程度）】

受験資格	以下の①，②のいずれかに該当する者（国籍不問） ① 平成5年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者 ② 平成13年4月2日以降に生まれた者で，大卒または大卒見込者	
採用予定数	総合土木－20名程度，造園－2名程度，建築－8名程度，設備（電気/機械）－18名程度，化学－4名程度，農学－7名程度，林学－6名程度	
試験内容	第1次試験①	① 教養択一式試験－50問中35問解答，105分（配点100点） ② 専門択一式試験－40問中30問解答，90分（配点100点） ③ 論文試験－800字程度，75分（配点100点） ※論文試験の採点は第2次試験で行う
	第1次試験②	④ 集団面接（配点300点） ⑤ 適性検査（配点なし） ※択一式試験の成績上位者だけが受験できる。 ※第1次試験の合格者は択一式試験と集団面接の合計得点（500点満点）により決定する。
	第2次試験	① 個別面接 ② グループワーク } （配点400点）

【和歌山県 I種（大卒程度）】

受験資格	日本国籍を有し，かつ以下の①～③のいずれかに該当する者 ① 昭和62年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者（学歴不問） ② 平成13年4月2日以降に生まれた者で，大卒（短大を除く）または大卒見込者 ③ 人事委員会が②に該当する人と同等の資格があると認める人
採用予定数	情報A－2名程度，情報B－1名程度，総合土木－16名程度，建築－5名程度，電気－3名程度，機械－1名程度，化学A－1名程度，化学B－1名程度，農学－10名程度，林学－6名程度，水産－2名程度

試験内容	第1次試験	① 基礎能力試験（SCOA）（択一式）－120問，60分（配点400点） ② 専門択一式試験－40問必須解答，120分（配点600点） ※総合土木は45問中40問解答 ③ 論文試験－論文試験－90分，1200字程度（配点200点） ※論文試験の採点は第2次試験で行う ④ 適性検査（配点なし）
	第2次試験	① 個別面接（配点1,400点）

(7) 市町村採用 試験概要（2022年採用試験）

※詳細は各自治体のホームページ等をご確認ください。なお、ここに掲載のない市町村においても、年度により、採用試験を実施する場合があります。

【滋賀県下】

自治体名	1次試験日	年齢制限、試験概要、採用予定数
大津市	7/24	①受験資格 昭和62年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者 ②試験概要 1次試験 基礎能力検査(SPI)、専門試験、適性検査 2次試験 口述試験（個人面接） 3次試験 口述試験（個人面接） ③採用予定数 土木15名程度，林業1名程度，電気3名程度，機械1名程度， 建築1名程度，化学2名程度
	9/25 (経験者)	①受験資格 昭和57年4月2日以降に生まれた者で、令和4年12月31日までに民間企業において、土木に関する計画・設計・監督等の職務経験が3年以上あるもの。 ②試験概要 1次試験 基礎能力検査（SPI）、適性検査 2次試験 口述試験（個人面接、専門面接） 3次試験 口述試験（個人面接） ③採用予定数 土木10名程度
草津市	9/18	①受験資格 建築：平成7年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者 土木：平成4年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者 ②試験概要 1次試験 SPI試験、専門試験 2次試験 口述試験 3次試験 口述試験 ③採用予定数 若干名
守山市	6/19	①受験資格 土木、機械：昭和62年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者 建築：昭和62年4月2日以降に生まれた者 ②試験概要 1次試験 教養試験（テストセンター形式）、専門試験、口述試験 2次試験 面接 ③採用予定数 土木2名程度、機械1名程度、建築1名程度

甲賀市	11/5	①受験資格 昭和63年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者 大学で職種に関する専門課程を専攻して卒業した者（卒業見込者を含む）、または同程度の学力を有する者 ②試験概要 1次試験 基礎能力・性格検査（SPI） 2次試験 口述試験（個別面接） ③採用予定数 土木2名程度
湖南市	4/17	1次募集（土木）※1 ①受験資格 A：昭和62年4月2日～平成12年4月1日までに生まれた人で、学校教育法に規定する学校※2で土木・農業土木関連の学科・学部・専門学校を卒業した人、または土木職関連の実務経験が3年以上ある人、もしくは2級土木施工管理技士相当以上の資格を有している人 B：平成4年4月2日～平成13年4月1日に生まれた人で、学校教育法に規定する学校※1で土木・農業土木関連の学科・学部・専門学校を卒業した人（卒業見込者を含む）、または土木職関連の実務経験が3年以上ある人、もしくは2級土木施工管理技士相当以上の資格を有している人 ②試験概要 1次試験 専門試験、個人面接 2次試験 個人面接 ③採用予定数 土木A：2名※3、土木B：2名 ※1 求人 の充足状況に応じて、土木職に限らず、2次、3次と追加の募集がかかる（22年の4月の試験では、土木職のみの募集であったが、7月の試験では建築職の募集があった）。 ※2 短期大学を含む大学、高等専門学校、高等学校および専修学校その他の学校を指す。 ※3 土木A区分の採用予定日は令和4年7月1日であった。
彦根市	12/4	①受験資格 昭和62年4月2日～平成13年4月1日までに生まれた人で、土木または建築の専門課程を卒業した人 ②試験概要 1次試験 基礎能力検査（SPI）、専門択一、集団面接 2次試験 論作文、個人面接 ③採用予定数 土木2名、建築1名
東近江市 （上級技術職）	9/18	①受験資格 昭和58年4月2日～平成13年4月1日までに生まれた者で、職種に関する専門課程を修めて大学等※1を卒業したもの（卒業見込者を含む） ②試験概要 1次試験 大卒程度の土木又は建築に関する専門試験及び適性検査 2次試験 初級：作文及び個人面接 上級：集団討論 3次試験 上級のみ：作文及び個人面接 ③採用予定数 土木若干名、建築若干名 ※1 短期大学・大学院を含む大学、高等専門学校、高等学校またはこれに準ずる学校を指す。

近江八幡市	11/6	①受験資格 昭和62年4月2日～平成13年4月1日までに生まれた人で、学校教育法に基づく4年制大学で機械に関する専門課程を履修し卒業した人（令和5年3月31日までに卒業見込の人を含む）、又は同等の知識を有する人 ②試験概要 1次試験 教養試験、専門試験 2次試験 口述試験、作文試験、性格特性検査等 ③採用予定数 土木2名、建築2名、機械1名、電気1名
日野町	7/10	①受験資格 昭和61年4月2日～平成12年4月1日までに生まれた人で、 （ア）大学、高等専門学校または専門学校で、職種に関する専門課程を修了し卒業した方（卒業見込者を含む） （イ）土木施工管理技士（一級または二級）または建築士・建築施工管理技士（一級または二級）のいずれかの資格を有する方 ②試験概要 1次試験 教養試験、職場適応性試験 2次試験 面接、作文 ③採用予定数 土木・建築2名

【京都府下】

自治体名	1次試験日	年齢制限、試験概要、採用予定数
京都市 (一般)	6/19	①受験資格 平成4年4月2日～平成13年4月1日までに生まれた方 ②試験概要 1次試験 教養試験、専門試験、作文試験 2次試験 個別面接 ③採用予定数 土木10名、建築15名、電気10名、環境5名、機械10名、化学・蓄水産若干名
京都市 (先行実施枠)	4/17	①受験資格 平成4年4月2日～平成13年4月1日までに生まれた方 ②試験概要 1次試験 基礎能力検査、専門性確認シート 2次試験 プレゼンテーションおよび個別面接 ③採用予定数 土木約35名
京都市 (経験者)	11/27	①受験資格 昭和38年4月2日～平成8年4月1日までに生まれた方 ②試験概要 1次試験 教養試験、専門試験、経験作文、適性検査 2次試験 個別面接 ③採用予定数 土木・建築・電気・機械各5名
福知山市 (前期)	5/15	①受験資格 昭和63年4月2日以降に生まれた方で、次のいずれかに該当する方 [1] 学校教育法にいう短期大学又は高等専門学校（同程度と認めるものを含む）以上の学校において専門課程を習得し卒業した方（令和5年3月末までに卒業見込みの方を含む） [2] 令和4年3月以前に、学校教育法にいう高等学校（同程度と認めるものを含む）において専門課程を習得し卒業した方 [3] 1級若しくは2級土木施工管理技士、技術士若しくは技術士補又は測量士のいずれかの資格があり、土木関係の設計業務、施工管理等の職務経験を有する方（土木のみ） ②試験概要 1次試験 面接 2次試験 一般教養試験 or SPI3、専門試験 3次試験 面接、プレゼンテーション、作文、適性検査 ③採用予定数 土木5名程度、建築1名程度

福知山市 (後期)	8/21	①受験資格 昭和 63 年 4 月 2 日以降に生まれ、次のⅠ又はⅡに該当する方 Ⅰ 学校教育法にいう高等学校（同程度と認めるものを含む。）以上の学校において専門課程を修得し卒業した方または令和5年3月末までに卒業見込みの方 Ⅱ 1 級若しくは 2 級土木施工管理技士、技術士若しくは技術士補又は測量士のいずれかの資格があり、土木関係の設計業務、施工管理等の職務経験を有する方（土木のみ） ②試験概要 1 次試験 面接 2 次試験 一般教養試験 or SPI3、専門試験 3 次試験 面接、プレゼンテーション、作文、適性検査 ③採用予定数 土木 3 名程度、建築 3 名程度
舞鶴市	4/24	①受験資格 昭和 62 年 4 月 2 日から平成 15 年 4 月 1 日までに生まれた方で、大学又は短期大学（これらと同程度のものを含む）卒業又は卒業見込みの土木技術、建築技術、設備技術（電気・機械）を有する方 ②試験概要 1 次試験 専門試験 2 次試験 個別面接 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 3 名程度、建築 2 名程度、設備 2 名程度
宮津市	10/16	①受験資格 平成 6 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、学校教育法による大学、短期大学、高等専門学校、高等学校（各同程度と認めるものを含む。）において専門（土木）課程を修得し卒業した方又は令和 5 年 3 月末日までに卒業見込みの方 ②試験概要 1 次試験 教養試験 or SPI3、専門試験、適性検査 2 次試験 WEB 面接 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木技術職 若干名
亀岡市 (一般)	8/21	①受験資格 平成 13 年 4 月 2 日から平成 17 年 4 月 1 日までに生まれた人で、学校教育法による高等学校（同程度と認めるものを含む）において土木工学、造園・緑地、環境工学のいずれかに関する課程を修得し令和 5 年 3 月 31 日までに卒業する見込みの人 ②試験概要 1 次試験 教養試験 or 作文試験 or SPI3 試験、個別面接 2 次試験 個別面接 ③採用予定数 かめおか方式（上級、初級）と合わせて 5 名程度

亀岡市 (かめおか方式)	8/21	①受験資格 昭和 62 年 4 月 2 日から平成 15 年 4 月 1 日までに生まれた人で、学校教育法による高等学校以上の学校（同程度と認めるものを含む）において土木工学、造園・緑地、環境工学のいずれかに関する課程を修得し卒業した人又は令和 5 年 3 月 31 日までに卒業する見込み（高等学校を除く）の人 平成 13 年 4 月 2 日から平成 17 年 4 月 1 日までに生まれた人で学校教育法による高等学校（同程度と認めるものを含む）において、土木工学、造園・緑地、環境工学のいずれかに関する課程を修得し卒業した人。ただし、学校教育法による大学、短期大学又は令和 5 年 3 月 31 日までに卒業する見込みの人は受験できない。 ②試験概要 1 次試験 集団面接 2 次試験 教養試験 or 作文試験 or SPI3 試験、個別面接 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 一般方式と合わせて 5 名程度
向日市	6/26	①受験資格 [1] <u>土木、建築、電気又は化学の専門課程を履修し、次に該当する方</u> ● 平成 11 年 4 月 2 日から平成 15 年 4 月 1 日までに生まれた方、最終学歴が学校教育法による短期大学を卒業又は令和 5 年 3 月末卒業見込みの方 ● 平成 9 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた方で最終学歴が学校教育法による大学を卒業又は令和 5 年 3 月末卒業見込みの方 [2] <u>土木、電気又は化学の専門課程を履修し、次に該当する方</u> ● 大学卒業程度の学力を有し、昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、民間企業等（NP0 や各種法人を含む）で成果を上げており、その経験等から得たものを市政のさまざまな場で活かしたいという強い意欲を持っている方 [3] <u>建築の専門課程を履修し、次に該当する方</u> ● 大学卒業程度の学力を有し、昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた方で次のいずれかの資格^{※1}を有し、民間企業等（NP0 や各種法人を含む）で成果を上げており、その経験等から得たものを市政のさまざまな場で活かしたいという強い意欲を持っている方 ②試験概要 1 次試験 SPI3（基礎能力試験、性格検査）、書類選考、専門試験 2 次試験 個別面接 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 各種若干名 ※1 技術士、1 級建築士、2 級建築士、木造建築士、1 級建築施工管理技士、2 級建築施工管理技士が該当する。

長岡京市	9/18	①受験資格 次の最終学歴に該当する人で、高等学校以上の土木専門課程を、卒業又は令和5年3月までに卒業見込みの人 ◇大学 (平成4年4月2日から平成13年4月1日生まれ) ◇短期大学 (平成6年4月2日から平成15年4月1日生まれ) ◇高等学校 (平成8年4月2日から平成17年4月1日生まれ) ②試験概要 1次試験 基礎能力試験、小論文、専門試験、適性検査 2次試験 個別面接 ③採用予定数 土木2名
八幡市	9/18	①受験資格 (1) 昭和57年4月2日以降に生まれた方 (2) 2級土木施工管理技士以上の資格を有する方又は令和5年3月31日までに取得見込みの方又は学校教育法による高等学校、高等専門学校、大学等の土木専門課程を卒業した方又は令和5年3月31日までに卒業見込みの方 ②試験概要 1次試験 教養試験、作文試験、専門試験 2次試験 個別面接、適性検査 3次試験 個別面接 ③採用予定数 土木1名
京田辺市	(電気) 6/26 (電気以外) 7/10	①受験資格 電気：昭和52年4月2日以降に生まれ、次の(1)～(3)のいずれかに該当する方 (1) 学校教育法による高等学校、高等専門学校、もしくは大学等で電気の専門課程を修了した方、または令和5年3月末日までに修了見込みの方 (2) 第一種電気工事士と1級電気工事施工管理技士の資格を有する方 (3) 第一種電気工事士と第3種電気主任技術者の資格を有する方 電気以外：昭和62年4月2日以降に生まれ、学校教育法による高等学校、高等専門学校、もしくは大学等で職種に関する専門課程を修了した方、または令和5年3月末日までに修了見込みの方 ※ 建築職の場合、学歴要件を満たさない場合でも、一級建築士または二級建築士の資格を有することによって、受験が可能。 ②試験概要 1次試験 基礎能力、専門、記述(電気のみ) 2次試験 適性検査、口述試験、個別面接(電気のみ)、記述(電気以外) 3次試験 個別面接(電気は第3次試験を行いません) ③採用予定数 電気、土木、建築それぞれ1名

京丹後市 (前期)	6/11 または 6/12	①受験資格 ①平成4年4月2日以降に生まれた方 ②学校教育法にいう高等学校卒業以上(見込み含む。)の学力を有する方で、次のいずれかに該当する方 ア.学校教育法にいう高等学校以上の学校において、土木又は建築の専門課程を修得し、卒業した方(卒業見込者を含む) イ.土木系又は建築系の設計または施工管理などの実務経験のある方 ②試験概要 1次試験 個人面接 2次試験 教養試験 or SPI3 試験 3次試験 個人面接 ③採用予定数 土木5人程度、建築若干名
京丹後市 (後期)	9/17 または 9/18	①受験資格 平成4年4月2日以降に生まれ、学校教育法にいう高等学校卒業以上(卒業見込者を含む)の学力を有する方で、次のいずれかに該当する方 ア 学校教育法にいう高等学校以上の学校において、土木又は建築の専門課程を修得し、卒業した方(卒業見込者を含む) イ 土木系または建築系の設計、もしくは施工管理などの実務経験のある方 ②試験概要 1次試験 個人面接 2次試験 SPI3※1 3次試験 個人面接 ③採用予定数 土木、建築それぞれ若干名 ※1 ペーパーテスト方式とテストセンター方式から任意のものを選択できる。
城陽市 ※2022年度は 実施なし	9/9～22	★ 2021年度の情報です。 ①受験資格 (1) 昭和46年4月2日以降に生まれた方 (2) 学校教育法による高等学校、高等専門学校等で土木の専門課程を習得した方又は令和4年3月31日までに習得見込みの方 ②試験概要 1次試験 事務能力試験(テストセンター方式) 2次試験 面接試験、適性検査 3次試験 面接試験 ③採用予定数 若干名
南丹市 ※2022年度は 実施なし	前期 5/30 後期 10/31	★ 2021年度の情報です。 ①受験資格 (一般試験) 平成8年4月2日～平成16年4月1日までに生まれた人で、高等学校以上の学校において土木または建築の専門課程を卒業した人もしくは令和4年3月末までに卒業見込みの人 (社会人試験) 昭和56年4月2日以降に生まれた人で、土木関係又は水道関係の設計業務、施行管理等の実務経験が3年以上ある人 ②試験概要 (一般試験) 1次試験 基礎能力試験、専門試験、事務能力検査 2次試験 口述試験 3次試験 口述試験 (社会人試験) 1次試験 基礎能力試験、事務能力検査 2次試験 自己PRプレゼン、口述試験 ③採用予定数 土木水道若干名

木津川市	6/12	①受験資格 昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、学校教育法による高等学校（同程度と認めるものを含む。）以上を卒業した方で土木又は建築の専門知識を有する方 ②試験概要 1 次試験 専門試験、性格検査 2 次試験 小論文、面接試験 3 次試験 面接試験 ③採用予定数 事務職を含め若干名
宇治市	9/4	①受験資格 昭和 63 年 4 月 2 日～平成 16 年 4 月 1 日までに生まれ、次のいずれかに該当する人 ・学校教育法による高等学校、高等専門学校、もしくは大学で電気の専門課程を修得し、卒業した人、または採用日前日までに卒業見込みの人 ・電気主任技術者（第 1 種、第 2 種、第 3 種）、電気工事施工管理技士（1 級、2 級）のいずれかの資格を有する人 ②試験概要 1 次試験 教養試験、専門試験、作文 2 次試験 個人面接 ③採用予定数 若干名
久御山町	7/11	①受験資格 昭和 61 年 4 月 2 日～平成 16 年 4 月 1 日に生まれた人で、高等学校卒業程度以上の学力を有する者 ②試験概要 1 次試験 教養試験、専門試験、職場適応性検査、作文試験 2 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木若干名（2022 年度採用試験実施無し）
伊根町	12/5	①受験資格 20 歳～35 歳まで（学歴不問） ②試験概要 1 次試験 専門試験、一般性格診断検査及び小論文試験 2 次試験 個別面接 ③採用予定数 若干名

【大阪府下】

自治体名	1 次 試験日	年齢制限、試験概要、採用予定数
堺市	6/19	①受験資格 平成 4 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた人(学歴不問)、または平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学（短期大学を除く）を卒業した人（卒業見込者を含む）、もしくはこれと同等の資格があると堺市人事委員が認める人 ②試験概要 1 次試験 基礎能力試験 2 次試験 専門試験、個別面接 ③採用予定数 機械 3 名程度、電気 4 名程度、化学若干名
堺市	4/17	①受験資格 昭和 48 年 4 月 2 日～平成 4 年 4 月 1 日に生まれた人 ②試験概要 1 次試験 適性検査（SPI3） 2 次試験 筆記試験、面接試験 ③採用予定数 土木（大卒7名程度、経験者4名程度）、建築（大卒、経験者ともに若干名）

豊中市	6/11～ 6/21	①受験資格 昭和38年4月2日以降に生まれ、学校教育法による学校において、職種に関する専門課程を卒業した人（卒業見込者を含む） ②試験概要 1次試験 SPI3 2次試験 面接、小論文or作文、その他 ③採用予定数 土木2名、建築 1名
高槻市	6/11～ 6/26	①受験資格 平成4年4月2日以降に生まれ、学校教育法による学校において、職種に関する専門課程を平成27年4月以降に卒業した人、または令和5年3月末までに卒業見込みの人 ②試験概要 1次試験 基礎能力検査（SC0A）、事務能力検査（SC0A） 2次試験 個人面接、適性検査（web） ③採用予定数 土木3名
吹田市 (22-30 区分)	5/21～6/3	①受験資格 平成4年平成4年4月2日～平成13年4月1日までに生まれた人で、次のいずれかに該当する人 ア．学校教育法に定める学校において、職種に関する専門課程を修めて卒業した人（卒業見込者を含む） イ．職種に関する資格・免許を取得している人^{※1} ②試験概要 1次試験 SPI3[能力検査][性格検査] 2次試験 集団面接、個別面接、適性検査 ③採用予定数 土木 15名程度、建築5名程度、機械・電気・環境若干名 ※1 対応する資格・免許は次の通り <土木> 技術士（建築部門又は上下水道部門）又は1級土木施工管理技士のいずれか <建築> 一級建築士又は二級建築士のいずれか <機械> 技術士（機械部門）、1級管工事施工管理技士、建築設備士又はエネルギー管理士のいずれか <電気> 技術士（電気電子部門）、1級電気工事施工管理技士、電気主任技術者（第一種、第二種または第三種）、建築設備士又はエネルギー管理士のいずれか
高石市 (上級・土木)	9/18	①受験資格 昭和57年4月2日～平成13年4月1日までに生まれ、大学院・大学・短期大学・高等専門学校・高校又は専門学校で土木に関する課程を専攻し、卒業した人（卒業見込者を含む） ②試験概要 1次試験 一般教養試験、専門試験、小論文試験 2次試験 個別面接、適性検査 3次試験 個別面接 ③採用予定数 土木若干名
千早赤阪村	8/3～9/13	①受験資格 昭和63年4月2日以降に生まれた人で下記の(1)または(2)に該当する人 (1)学校教育法による大学(短期大学を除く。)または大学院で土木に関する専門課程を卒業(修了)した人 (2)土木施行管理技師(1級または2級)の資格を有する人 ②試験概要 1次試験 事務能力診断検査、基礎能力検査 2次試験 個人面接(対面) 3次試験 個人面接(対面)、小論文 ③採用予定数 土木1名程度

枚方市	7/23～ 7/27	①受験資格 平成9年4月2日以降に生まれた者で、各専門課程を修了した者 ②試験概要 1次試験 録画面面接 2次試験 集団討論 3次試験 小論文、個別面接 ③採用予定数 土木13人程度、建築・機械・化学合わせて3人程度
枚方市 (経験者)	7/23～ 7/27	①受験資格 昭和38年4月2日以降に生まれた者で、市が定める資格保有者もしくは職務経験が3年以上ある者 ②試験概要 1次試験 録画面面接 2次試験 集団討論 3次試験 小論文、個別面接 ③採用予定数 土木13人程度、建築・機械・化学合わせて3人程度
交野市	8/17～ 9/11	①受験資格 昭和62年4月2日以降に生まれた者で、学校教育法による学校で専門の課程を修了した者又は市が定める資格保有者 ②試験概要 1次試験 録画動画面面接 2次試験 基礎能力試験、適性検査、集団討論 3次試験 個人面接 ③採用予定数 土木・建築・情報それぞれ若干名
寝屋川市	5/25～ 6/14	①受験資格 大学又は短期大学、高等専門学校、高等学校又は修業年限2年以上の専門学校の専門課程を修了した人もしくは市の定める資格保有者 ②試験概要 1次試験 録画による面接 2次試験 ディベート 3次試験 個別面接 ③採用予定数 土木5名以内・建築2名以内
門真市	9/16～ 9/25	①受験資格 昭和57年4月2日以降に生まれた者で、大卒または大卒見込者 ②試験概要 1次試験 SPI 検査（事務能力・適性検査） 2次試験 専門択一、集団討論、個別面接 3次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 若干名、建築 若干名
四条畷市	9/14～ 9/26	①受験資格 次のいずれかに該当する人 (1) 1級又は2級土木施工管理技士の資格を有する人（令和4年度中の資格取得見込みの人を含む） (2) 高校、高等専門学校、短期大学又は大学において土木に関する専門課程を修了し卒業した人（令和4年度中に修了・卒業見込みの人を含む） (3) 施工管理者としての経験（納品管理、予算調整や見積もり作成など）を有する人 ②試験概要 1次試験 個人面接（ビデオ） 2次試験 適性検査、個人面接（Web）、エントリーシート 3次試験 個人面接（対面） ③採用予定数 土木3名程度

大東市 (土木職 A)	9/24～ 10/2	①受験資格 昭和 58 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日に生まれた者で専門の課程を修了した者または技術士もしくは 1 級土木施工管理技士（建築は 1 級建築士もしくは 1 級建築施工管理技士）の資格を有する者 ②試験概要 1 次試験 エントリー動画、適性検査 (SCOA) 2 次試験 集団面接 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 4 名程度
大東市 (経験者)	9/24～ 10/2	①受験資格 土木職 A の受験資格を満たし、かつ民間企業等における、土木（土木工事の設計・施工管理）に関する職務経験が通算して 3 年以上ある人 ②試験概要 1 次試験 エントリー動画、適性検査 (SCOA) 2 次試験 集団面接 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 4 名程度（土木 A と合わせて）
柏原市	5/25～ 6/22	①受験資格 昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、次のいずれかに該当する者 (A) 大卒または大卒見込者 (B) 大卒または 1 級もしくは 2 級の土木施工管理技士の資格を有する人 ②試験概要 1 次試験 録画面接 2 次試験 基礎能力検査（テストセンター） 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 2 名程度（初級と合わせて）
和泉市	9/18	①受験資格 次のいずれかに該当する方 (1) 平成 4 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、学校教育法にいう大学・短期大学・高等専門学校のいずれかにおいて職種に関する専門課程を修めて卒業した方（卒業見込者を含む） (2) 昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、職種に関する資格を有する方^{※1} ②試験概要 1 次試験 能力適性検査、専門試験 2 次試験 個別面接、論文 3 次試験 個別面接、集団討論 ③採用予定数 土木 2 名、建築 1 名 ※1 対応する資格は次の通り ＜土木＞ 1 級土木施工管理技士 ＜建築＞ 1 級建築士、2 級建築士のいずれか
泉大津市	9/18	①受験資格 昭和 62 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日に生まれた者で、学校教育法における学校において、職種に関する専門課程を修めて卒業したもの（卒業見込者を含む） ②試験概要 1 次試験 教養試験、専門試験 2 次試験 集団討論、個人面接 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 1 名、建築 1 名

岸和田市	5/15	★初級・上級試験が同日に実施され、採用予定人数も両試験合わせてのもの。 ①受験資格 上級・初級共通：学校教育法における大学（短大を含む）、高等専門学校以上の学校において、職種に関する専門課程を修了し卒業した方、またはまたは市の定める資格^{※1}を有する者 上級：昭和52年4月2日～平成13年4月1日に生まれた者 初級：平成13年4月2日～平成16年4月1日までに生まれた者^{※2} ②試験概要 1次試験 適性検査、記述式試験、面接 2次試験 小論文、グループワーク 3次試験 面接 ③採用予定数 土木10名、建築10名、電気5名 ※1 対応する資格は次の通り ＜土木職＞ 土木施工管理技士（1級または2級）、造園施工管理技士（1級または2級）、測量士または測量士補のいずれか ＜建築職＞ 建築士（1級または2級）、建築施工管理技士（1級）のいずれか ＜電気職＞ 第3種電気主任技術者、第2種電気工事士、電気工事施工管理技士（1級）のいずれか ※2 高校新卒者を除く
泉南市	7/10	①受験資格 昭和57年4月2日以降に生まれた方で、学校教育法による大学等を卒業し、土木・建築に関する専門課程を修了した方または土木施工管理技士・建築士の資格を有する者 ②試験概要 1次試験 面接、専門試験 2次試験 集団討論等 3次試験 個別面接 ③採用予定数 土木4名、建築3名
阪南市 (土木)	8/20, 8/21	①受験資格 昭和62年4月2日以降に生まれ、次のいずれかに該当する人 Ⅰ 学校教育法による大学（高等専門学校を含む）などで土木に関する専門学科を専攻し卒業した人（卒業見込者を含む） Ⅱ 土木施工管理技士、技術士、技術士補のいずれかの資格を有する者 ②試験概要 1次試験 基礎能力試験、性格適格検査、口述試験(集団面接) 2次試験 口述試験(集団面接) 3次試験 口述試験(個人面接) ③採用予定数 土木1名程度
松原市	9/18	①受験資格 昭和62年4月2日～平成15年4月1日に生まれた者で、土木に関する専門課程を修了した者（卒業見込者を含む） ②試験概要 1次試験 Web面接 2次試験 集団面接試験 3次試験 個別面接試験 ③採用予定数 土木5名程度

羽曳野市	9/14～ 9/25	①受験資格 昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、次のいずれかに該当する方 (1) 各職種に関連する資格※1を有しているか、令和 5 年 3 月末までに取得見込みの人で、大卒程度の学力を有する人 (2) 学校教育法による大学（短期大学を除く）において、各職種関連する専門課程を修了し卒業している人（卒業見込者を含む） ②試験概要 1 次試験 基礎能力試験（テストセンター方式） 2 次試験 集団考査 3 次試験 面接、小論文、適性検査 ③採用予定数 土木 2 名程度、建築 2 名程度 ※1 対応する資格は次の通り <土木> 1 級土木施工管理技士 <建築> 1 級建築士
岬町 ※2022 年は 技術職採用 予定なし	9/19～ 9/27	★2021 年度の情報です。 ①受験資格 昭和 47 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、次の(1)(2)に該当する人 (1) 学校教育法における大学等において専門課程を修了し卒業した人（卒業見込者を含む） (2) 建築士(1 級または 2 級)の資格を有する人 ②試験概要 1 次試験 総合能力(SPI3) 2 次試験 面接試験 3 次試験 面接試験 ③採用予定数 建築 1 名程度
河内長野市 (上級)	7/20～8/1	①受験資格 平成 5 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた人で、次のいずれかに該当する人 <土木職> (1) 令和 4 年 7 月 1 日現在で 2 級以上の土木施工管理技士の資格を持つ人 (2) 土木施工管理技術検定に定める指定学科を卒業した人、または令和 5 年 3 月末までに卒業見込みの人 <建築職> (1) 令和 4 年 7 月 1 日現在で 2 級以上の建築士の資格を持つ人 (2) 2 級以上の建築士の受験資格を得ることのできる学校を卒業した人、または令和 5 年 3 月末までに卒業見込みの人 ②試験概要 1 次試験 総合能力試験（SPI3）※1 2 次試験 面接試験（Web 面接） 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 2 名程度、建築 2 名程度 ※1 基礎能力試験に加え、性格審査も実施される。

【奈良県下】

自治体名	1 次 試験日	年齢制限、試験概要、採用予定数
奈良市	4 月中旬 ～ 5 月中旬	①受験資格 平成 7 年（1995 年）4 月 2 日以降に生まれた者で、学校教育法による大学（短期大学を除く）において職種に関連する専門課程を修めて卒業した人（卒業見込者を含む） ②試験概要 1 次試験 動画選考※¹、書類選考、総合能力試験（SPI3）※² 2 次試験 個別面接、専門試験（択一式） 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 5 人、電気若干名、建築若干名 ※1 2022 年度試験においては、「奈良市のファンを増やすための PR 動画を 60 秒で撮影してください」というものであった。 ※2 総合能力試験については他 2 つの選考で一定の点数に達している人を対象に実施する。なお、実施形式はテストセンター形式である。
奈良市 （経験者）	5 月中旬	①受験資格 昭和 42 年（1967 年）4 月 2 日～平成 7 年（1995 年）4 月 1 日までに生まれた人で、学校教育法による大学・短期大学・高等学校の専門課程を卒業し、民間企業等における職務経験が平成 27 年 4 月 1 日～令和 4 年 8 月 31 日までの間に 5 年以上ある人 ②試験概要 1 次試験 書類選考 2 次試験 SPI、性格検査、個別面接、専門試験 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木若干名
大和高田市	9/18	①受験資格 昭和 52 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、学校教育法による大学・短期大学・高等学校の各専門課程の卒業生、または卒業見込者 ②試験概要 1 次試験 教養試験、専門試験 2 次試験 個人面接、職場適応性検査 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 2 名、情報処理 1 名、電気 1 名
大和郡山市	5/10～5/23	①受験資格 ●土木技術職：昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、以下の要件のいずれかを満たす人（35 歳未満） （1）学校教育法による大学の土木関連専門課程を卒業（または土木関連専門課程の学士を取得）した人（卒業見込者を含む） （2）学校教育法による大学を卒業した人または学士の学位を有する人で、1 級土木施行管理技士資格または 2 級土木施行管理技士資格を有する人 ●土木技術職（長期職務経験者）：昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、以下の 2 つの要件を満たす人（40 歳未満） （1）過去に通算 5 年以上の土木技術者としての職務経験がある人 （2）学校教育法による大学を卒業した人または学士の学位を有する人で、1 級土木施行管理技士資格または 2 級土木施行管理技士資格を有する人 ②試験概要 1 次試験 テストセンター方式 2 次試験 パーソナリティ検査、口述試験（面接試験等） 3 次試験 口述試験 ③採用予定数 土木 3 名

檜原市 ※2022 年は 技術職採用 予定なし	5/27～6/9	★2021 年度の情報です。 ①受験資格 平成 4 年 4 月 2 日以降に生まれ、学校教育法における大学(短期大学を除く)または高等専門学校を卒業した人（卒業見込者を含む） ②試験概要 1 次試験 録画面接 2 次試験 テストセンター式総合適正検査、専門試験 3 次試験 個人面接 ③採用予定数 土木・電気・機械合わせて 3 名
桜井市	8/29～9/11	①受験資格 昭和 62 年 4 月 2 日以降生まれで、学校教育法による大学（短期大学は除く）を卒業した人（卒業見込者を含む）（35 歳以下） ②試験概要 1 次試験 テストセンター方式（基礎能力検査・事務能力検査※1） 2 次試験 専門試験、面接、グループワーク 3 次試験 面接、職場適応性検査（Web 実施）※2 ③採用予定数 土木技術職 4 名程度 ※1 出題範囲は次の通り ＜基礎能力検査＞ 言語・数理・論理・常識・英語 ＜事務能力検査＞ 照合・分類・言語・計算・読図・記憶 ※2 いわゆる性格検査。公務員としての職務への適性を性格傾向の面から判断するもの。
五條市	9/18、19	①受験資格 <大学> 平成 5 年 4 月 2 日以降に生まれ、大学を卒業した人または令和 5 年 3 月卒業見込みの人 <短大> 平成 9 年 4 月 2 日以降に生まれ、短期大学を卒業した人または令和 5 年 3 月卒業見込みの人 <高校> 平成 14 年 4 月 2 日以降に生まれ、高等学校を卒業した人もしくは令和 5 年 3 月卒業見込みの人または高等学校卒業程度認定試験合格者など高等学校卒業程度の学力を有する人 ②試験概要 1 次試験 基礎能力試験、専門試験、適性検査、個人面接 2 次試験 個人面接、小論文 ③採用予定数 土木 1 名程度
五條市 (経験者)	通年採用の ため随時	①受験資格 昭和 48 年 4 月 2 日以降に生まれ、高等学校以上の学校を卒業した人または高等学校卒業程度認定試験合格者など高等学校卒業程度の学力を有する人で、次のいずれかに該当する人 ・民間企業等における土木技術の職務経験が通算 3 年以上ある人 ・本市が指定する国家資格（技術士、技術士補、測量士、1 級土木施工管理技士、2 級土木施工管理技士、）を 1 つ以上有する人 ②試験概要 1 次試験 書類選考 2 次試験 個別面接 ③採用予定数 2 名程度
御所市 (経験者)	通年採用の ため随時	①受験資格 昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれ、学校教育法による高等学校以上の学校を卒業した人で、次のいずれかに該当する人 (1) 過去に土木技術者もしくは建築技術者として工事の設計または施工管理を主たる任務とする職務の経験年数が通算 3 年以上ある人 (2) 本市が指定する国家資格（技術士、技術士補、1 級土木施工管理技士、2 級土木施工管理技士、）のいずれか 1 つ以上有する人 ②試験概要 1 次試験 書類選考 2 次試験 個人面接 ③採用予定数 土木 3 名程度

生駒市 (新卒卒)	11月上旬	①受験資格 平成7年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による高等学校以上の土木に関する専門課程を卒業した人か、令和5年3月31日までに卒業見込みの人 ②試験概要 1次試験 面接、専門試験 2次試験 面接試験、適性検査 ③採用予定数 土木若干名
生駒市 (経験者)	11月上旬	①受験資格 昭和52年4月2日～平成9年4月1日の間に生まれた人で、次のいずれにも該当する人 (1) 民間企業等における職務経験（土木に関するものに限る）が令和4年4月1日までに3年以上ある人 (2) 学校教育法による高等学校以上の土木に関する専門課程を卒業した人、若しくは1級又は2級土木施工管理技術士の資格を有する人 ②試験概要 1次試験 面接 2次試験 適性検査、面接 ③採用予定数 土木若干名
香芝市	7/1～7/13	①受験資格 ●新規卒業者枠：平成8年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く）の土木専門課程を卒業した人、または令和5年3月卒業見込みの人 ●職務経験者：昭和63年4月2日～平成8年4月1日までに生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く）の土木専門課程を卒業し、かつ、令和4年6月末時点において、民間企業又は公的機関等における土木関係業務の職務経験年数が通算して3年以上ある人 ②試験概要 1次試験 パーソナリティ検査、基礎能力試験 2次試験 集団面接 3次試験 個別面接、専門試験 ③採用予定数 土木2名(職務経験者とあわせて)
葛城市	9/23～10/6	①受験資格 昭和63年4月2日以降に生まれた人で、次の①又は②いずれかの要件を満たす人 ① 学校教育法による大学の職種に関連する専門課程を卒業した人、又は令和5年3月卒業見込みの人 ② 学校教育法による高等学校以上の学校を卒業し、本市が指定する国家資格^{※1}を一つ以上有する人 ②試験概要 1次試験 基礎能力試験 2次試験 集団討論、小論文、専門試験 3次試験 個別面接及び集団面接 ③採用予定数 土木1名程度、建築1名程度 ※1 対応する資格は次の通り <土木職> 技術士、技術士補、1級土木施工管理技士、2級土木施工管理技士、測量士、測量士補 <建築職> 一級建築士、二級建築士、1級建築施工管理技士、2級建築施工管理技士

三郷町	9/27～ 10/11	①受験資格 昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれ、学校教育法による大学(短期大学を除く)又は大学院において土木又は建築(住環境、インテリアを除く)を専攻し、卒業(修了)した方。又は令和 5 年 3 月 31 日までに卒業(修了)見込みの方。 ②試験概要 1 次試験 SPI3(性格審査、基礎能力検査) 2 次試験 個別又は集団ワーキング 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 技師 1 名
広陵町	7/22～8/7	①受験資格 昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で学校教育法による高等学校、短期大学、大学のいずれかの土木若しくは建築専門課程を卒業した人又は令和 5 年 3 月卒業見込みの人 ②試験概要 1 次試験 総合能力試験(SPI3) 2 次試験 集団面接、論文、 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木・建築若干名
大淀町	10/16	①受験資格 平成 9 年 4 月 2 日から平成 17 年 4 月 1 日までに生まれた人で、建築又は土木課程を修了した人または修了見込みの人 ②試験概要 1 次試験 教養試験、適性試験、専門試験 2 次試験 総合適性検査、人物試験、作文試験、身体検査 ③採用予定数 土木・建築各 1 名
十津川村	7/16～7/31	①受験資格 昭和58年4月2日～平成16年4月1日までに生まれ、大学・短大・高等学校・専門学校等の土木技術、建築系の学科を卒業した人、もしくは令和5年3月末までに卒業見込みの人、又は土木技術系の資格を有する人で普通自動車運転免許を習得又は習得見込みの人、又は建築系の資格をもつ人 ②試験概要 1 次試験 SPI3 (性格検査・能力検査) 2 次試験 面接試験 ③採用予定数 土木・建築若干名

【和歌山県下】

自治体名	1 次 試験日	年齢制限、試験概要、採用予定数
和歌山市	6/19	①受験資格 次の①及び②を満たす方 ① 次のア又はイに該当する方 ア 昭和 62 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日までの間に生まれた方 (学歴不問) イ 平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、次の(ア)又は(イ)に該当する方 (いわゆる飛び級・飛び入学による大学卒業者の特例) (ア) 大学を卒業した方又は令和 5 年 3 月 31 日までに卒業する見込みの方 (イ) 外国の大学を修了した方など当人事委員会が(ア)と同等であると認める方 ② 次のウからオのいずれかに該当する方 ウ それぞれの専門課程(準ずる課程を含みます)を修了した方、又は令和 5 年 3 月 31 日までに修了する見込みの方 エ 市が指定する各種資格を有する方 オ 民間企業や公的機関における専門に関する職務経験の期間が通算して 3 年以上ある方 ②試験概要 1 次試験 教養試験、専門試験 2 次試験 論文試験、口述試験、適性検査 ③採用予定数 化学 1 名、建築 1 名、土木 7 名、電気 2 名、機械 1 名
橋本市	9/18	①受験資格 ●大卒：平成 5 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業した人、または令和 5 年 3 月までに卒業見込みの人 ●高卒：平成 5 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日までに生まれた人ただし、学校教育法における大学(短期大学を除く)を卒業した人又は卒業見込みの人は除く。 ②試験概要 1 次試験 基礎能力試験、専門試験 2 次試験 パーソナリティ検査、面接試験 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 1 名
有田市	6/4～6/19	①受験資格 昭和 53 年 4 月 2 日以降に生まれ、建築または土木の専門課程(準ずる課程を含む。)を修了した人または令和 5 年 3 月末日までに修了見込みの人 ②試験概要 1 次試験 能力・性格検査(択一式) 2 次試験 個別面接試験、小論文試験(記述式) 3 次試験 個別面接試験 ③採用予定数 土木・建築あわせて 3 名程度(いずれも経験者採用と合わせて))

岩出市	9/18	①受験資格 ●大学卒：昭和 62 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた方で、学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業した方。(令和 5 年 3 月卒業見込みの方を含む) ●短大卒：平成元年 4 月 2 日～平成 15 年 4 月 1 日までに生まれた方で、学校教育法による短期大学又は、高等専門学校を卒業した方、若しくは学校教育法による専修学校又は各種学校のうち高校卒を入学資格とする専修年限 2 年以上の学校を卒業した方。 ②試験概要 1 次試験 教養試験、専門試験、性格特性検査 2 次試験 事務適性試験、作文、面接 ③採用予定数 土木 2 名程度
かつらぎ町	9/18	①受験資格 昭和 58 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日までに生まれた方で、次のいずれかの要件を満たす方 ①土木の専門課程(それに準ずる課程を含む。)を修了した方、または令和 5 年 3 月末日までに修了見込みの方 ②測量士もしくは測量士補又は土木施工管理技士の資格を有する方 ②試験概要 1 次試験 教養試験、作文試験、職場適応性検査 2 次試験 面接試験、プレゼンテーション ③採用予定数 土木 1 名
白浜町	9/18	①受験資格 土木技術：昭和 62 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日までに生まれた人で、次の 1 又は 2 のいずれかに該当する人 1、土木技術を習得するための専門課程を卒業した人又は令和 5 年 3 月末日までに卒業見込みの人 2、測量士補以上又は 2 級土木施工管理技士以上の資格を有する 建築技術職：昭和 62 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日までに生まれた人で、次の 1 又は 2 のいずれかに該当する人 1、建築設計技術を習得するための専門課程を卒業した人又は令和 5 年 3 月末日までに卒業見込みの人 2、建築士免許（1 級又は 2 級）を有する人 ②試験概要 1 次試験 教養試験、専門試験(建築のみ)、適性検査 2 次試験 作文、個別面接 ③採用予定数 土木技術職 1 名 建築技術職 1 名
すさみ町	10/16	①受験資格 日本国籍を有し、昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた者で土木技術、建築技術の専門課程を修了（令和 4 年度中修了見込みを含む。）または、測量士補・2 級土木施工管理技士・2 級建築士以上のいずれかの資格を有する人（資格を取得見込みの人でも受験できますが、令和 5 年 3 月 31 日まで資格を取得できなかった場合には、この試験に合格しても採用資格を失う。） ②試験概要 1 次試験 事務適性検査、教養試験、性格適正検査、小論文 2 次試験 面接試験 ③採用予定数 土木技術 1 名程度

北山村	12/11	①受験資格 (1) 昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、土木技術、又は建築技術を習得するための専門課程を卒業した者、又は令和 5 年 3 月末までに卒業見込み の者、又は土木施工管理技士又は建築施工管理技士の 2 級以上の資格を有する者、又は土木に関する施行管理等の実務経験を 5 年以上有する者で原則として北山村に採用後居住できるもの (2) 次のいずれかに該当する者は受験できません。 日本国籍を有しないもの 地方公務員法第 16 条に該当する者 ②試験概要 教養試験、適性検査、専門試験、面接 ③採用予定数 土木 1 名
串本町	7/24	①受験資格 昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者 ②試験概要 1 次試験 専門試験、性格特性検査、論述試験 2 次試験 面接試験 ③採用予定数 土木 1 名

【兵庫県下】

自治体名	1 次 試験日	年齢制限、試験概要、採用予定数
神戸市 (経験者) (春)	4/4~4/17	①受験資格 昭和 58 年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人 ②試験概要 1次試験 適性検査(SPI3), アピールシート、資格加点 2次試験 個別面接 (Web) 3次試験 個別面接、グループワーク、提案型論文 ③採用予定数 土木・建築・総合設備(電気・機械) 各若干名
神戸市 (経験者) (秋)	9/6~9/23	①受験資格 昭和58年4月2日~平成7年4月1日に生まれた者 ②試験概要 1次試験 適性検査(SPI3), アピールシート、資格加点 2次試験 個別面接 (Web) 3次試験 個別面接、グループワーク、提案型論文 ③採用予定数 土木・建築各5名、総合設備(電気・機械) 若干名
神戸市 (特別枠)	4/4~4/17	①受験資格 平成10年4月2日以降に生まれた人(ただし、大学院を修了した人又は令和5年3月までに修了する見込みの人及び学校教育法第87条第2項に該当する課程を卒業した人又は令和5年3月までに卒業する見込みの人は、平成8年4月2日以降に生まれた人)で、大学(短期大学を除く)を卒業した人又は令和5年3月までに卒業する見込みの人及び、専修学校(専門学校等)の専門課程を卒業し高度専門士の称号を取得した人又は令和5年3月までに取得する見込みの人 ②試験概要 1次試験 適性検査 (SPI3) 2次試験 個別面接 3次試験 個別面接、グループワーク、時事問題、論文 ③採用予定数 土木3名、建築若干名、総合設備(電気・機械) 3名

神戸市	6/19	①受験資格 平成7年4月2日以降に生まれた者（ただし、大学院を修了した人又は令和5年3月までに修了する見込みの人及び学校教育法第87条第2項に該当する課程を卒業した人又は令和5年3月までに卒業する見込みの人は、平成5年4月2日以降に生まれた人）で、大学を卒業した者または令和5年3月までに卒業する見込みの者及び、専修学校の専門課程を卒業し高度専門士の称号を取得した人又は令和5年3月までに取得する見込みのある者 ②試験概要 1次試験 基礎的能力、専門、適性検査 2次試験 個別面接 3次試験 個別面接、グループワーク、論文 ③採用予定数 土木5名、建築5名、総合設備（電気・機械）3名、農業若干名、造園3名、総合科学5名、水道技術5名
尼崎市	7/1～7/20	<土木・建築・機械・造園> ①受験資格 ●大学卒：昭和57年4月2日以降に生まれた人（満40歳まで） ●短大・高専卒：昭和59年4月2日以降に生まれた人（満38歳まで） ●高卒（既卒のみ）：昭和61年4月2日以降に生まれた人（満36歳まで） 学歴区分に定める大学等において、各職種に関する専門課程を修めて卒業した人又は令和5年3月までに卒業見込みの人（高等区分は令和4年3月までに卒業した人） ただし、造園については専門職大学院課程を修めて卒業した人又は令和5年3月までに卒業見込みの人も受験可能 ②試験概要 1次試験 SPI（能力検査） 2次試験 集団討論、個人面接 ③採用予定数 土木5名程度、建築若干名、機械若干名、造園若干名 <環境・衛生（薬剤師、獣医師含む）> ①受験資格 ●大学卒※1：平成5年4月2日以降に生まれた人（満29歳まで）※2・3で、次の（1）～（3）のいずれかの分野に関する課程を修めて卒業した人、または令和5年3月までに卒業見込みの人 （1）理学、工学及び農学の化学系又は環境系 （2）薬学 （3）獣医学 ②試験概要 1次試験 SPI（能力検査） 2次試験 集団討論、個人面接 ③採用予定数 若干名 ※1 環境・衛生職の求人においては、大学卒区分のみの実施。 ※2 薬剤師免許を有する人、または令和5年3月までに薬剤師国家試験に合格のうえ、薬剤師免許登録申請済みとなる人を含む。 ※3 獣医師免許を有する人、または令和4年3月までに獣医師国家試験に合格のうえ、獣医師免許登録申請済みとなる人は、昭和62年4月2日以降に生まれた人（満35歳まで）。
西宮市	7/10	①受験資格 平成2年（1990年）4月2日以降に出生し、大学や高等専門学校などで各々の職種に関する専門課程・科目等を履修してきた人 ②試験概要 1次試験 専門択一（土木、建築）、専門記述（造園） 2次試験 個人面接、小論文 ③採用予定数 土木7名、建築3名、電気・機械・造園若干名

伊丹市	7/3	①受験資格 大学卒（見込）又は短大卒（見込）程度で、それぞれの職種に関する専門の課程を修めた人で、平成4年4月2日以降に生まれた人 電気は昭和62年4月2日以降に生まれた人 ②試験概要 1次試験 個別面接(web) 2次試験 個別面接 ③採用予定数 土木・造園、建築、電気、機械 各若干名
宝塚市	5/29	①受験資格 昭和 53 年 4 月 2 日以降に生まれ、4 年制大学、短期大学、高等専門学校で建築に関する専門課程を修めて卒業した人 ※一級建築士免許を有する人は筆記試験免除 ②試験概要 1 次試験 能力検査（事務遂行能力を測る検査（筆記）約 70 分） 面接（一人あたり約 15 分） 2 次試験 個別面接 ③採用予定数 建築技術職 若干名 ※2021 年度は、土木技術職、機械技術職の募集もあり
宝塚市 (就職氷河期 世代)	11/26	①受験資格 昭和 45 年 4 月 2 日から昭和 62 年 4 月 1 日までに生まれ、高校卒以上の者 ※土木技術職または建築技術職を希望される人は、併せて下記の要件の何れかを満たす人 ①4 年制大学、高等専門学校、高等学校で土木または建築に関する専門課程を修めて卒業した人 ②民間企業等で土木または建築に関する職務経験が 2 年以上ある人 ②試験概要 1 次試験 能力検査 2 次試験 個別面接 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木、建築、事務 計3名
三田市 (経験者)	10/5～ 10/11	①受験資格 以下の 3 つの条件をすべて満たす人 ①昭和 52 年 4 月 2 日～平成 9 年 4 月 1 日に生まれた者 ②高等学校以上の教育機関において、職種に関連する専門課程を修めて卒業した人、または令和 4 年 9 月 21 日時点で、市の指定する資格^{※1}を有する人 ③令和 5 年 3 月 31 日までに、一定年数^{※2}の職務経験がある人 ②試験概要 1 次試験 SPI3（総合能力試験）※テストセンター形式 2 次試験 個別面接、グループワーク、小論文 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木、建築合わせて 5 名程度^{※3} ※1 対応する資格は次の通り ＜土木職＞ 技術士（建設部門）、1 級土木施工管理技士 ＜建築職＞ 技術士（建設部門）、1 級建築士、2 級建築士、1 級建築施工管理技士 ※2 高卒の人は 5 年以上、高卒以外の人は 3 年以上。なお、職務経験ならなんでもよいわけではなく、土木職なら土木に、建築職なら建築に関係する職務経験が必要である。 ※3 高卒枠と合わせての採用予定人数。

三田市 (高卒枠)	10/16	①受験資格 平成 15 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日の間に学校教育法に規定する高等学校において、受験区分に関する専門課程を収めて卒業した者（卒業見込者を含む）※1 ②試験概要 1 次試験 SPI3（総合能力試験）、専門試験 2 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木、建築合わせて 5 名程度※2 ※1 令和 4 年 3 月までに卒業している人は受験できません。 ※2 社会人経験者枠と合わせての採用予定人数。
明石市 (5 月実施)	6/18～ 6/20 ※土木・建築 は 6/19	①受験資格 昭和 38 年（1963 年）4 月 2 日以降に生まれ（2023 年 4 月 1 日時点で 59 歳以下）、次の①～④のいずれかの要件を満たす人 ①大学、短大、高等専門学校、専門学校、または大学院で、職種区分の専門課程を修めて卒業した人（卒業見込者を含む） ②2022 年 3 月 31 日までに、高等学校（工業高校など）で職種区分の専門課程を修めて卒業した人 ③採用試験案内の「※3 資格加点一覧表」にある資格を有する人（学歴不問） ④正職員として職種区分に関わる職務経験がある人（学歴、経験年数不問） ②試験概要 1 次試験 エントリーシート、個別面接※1、資格加点 2 次試験 教養択一、集団討論、個別面接 3 次試験 実務能力確認試験※2、個別面接、適性検査（配点なし） ③採用予定数 土木、電気、建築、機械、環境・化学職合わせて 10 名程度 ※1 エントリー課題の得点が基準点に達した方のみ実施。また、受験者の負担軽減等の観点から、Web 面接を実施する場合がある（2 次以降の面接は対面のみ）。 ※2 職種区分で必要な工学の基礎的な知識および能力を問うもの。
明石市 (8 月実施)	10/8 または 9	①受験資格 5 月実施の試験と同様 ②試験概要 1 次試験 エントリーシート、個別面接※1、資格加点 2 次試験 基礎能力試験※2、適性検査（配点なし）※3、 集団討論、個別面接 3 次試験 実務能力試験※4、個別面接 ③採用予定数 土木、建築、電気、機械、環境・化学職合わせて 5 名程度 ※1 エントリー課題の得点が基準点に達した方のみ実施。また、受験者の負担軽減等の観点から、Web 面接を実施する場合がある（2 次以降の面接は対面のみ）。 ※2 文章読解能力、数的能力、推理判断能力について出題される。択一式。 ※3 いわゆる性格検査。 ※4 職種区分で必要な工学の基礎的な知識および能力を問うもの。
加古川市	6/14～ 6/27	①受験資格 平成 5 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、大学、短大、高専等で専門課程を修了し卒業した者または卒業見込者 経験者：昭和 55 年 4 月 2 日～平成 5 年 4 月 1 日生まれで職種により追加条件有 ②試験概要 1 次試験 基礎能力及び適性検査、個別面接、面接シート 2 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 5 名、建築 3 名、化学 1 名、電気 2 名（経験者含む）

三木市	9/18	①受験資格 平成 15 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日までに生まれ、学校教育法による 4 年制大学・短期大学・高等専門学校・専修学校で土木職に必要な専門課程を修めて令和 5 年 3 月卒業見込みの方もしくは昭和 58 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれ、学校教育法による 4 年制大学・短期大学・高等専門学校・専修学校・高等学校で土木職に必要な専門課程を修めて卒業された方 ②試験概要 1 次試験 教養試験、小論文、性格特性検査 2 次試験 個人面接 ③採用予定数 土木2名程度
小野市	6/25	①受験資格 平成 10 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、学校教育法による 4 年制大学・短期大学・高等専門学校又は専修学校で、土木職に必要な専門課程を修了又は令和 5 年 3 月末までに同課程を修了見込みの方 ②試験概要 1 次試験 専門試験、適性検査 2 次試験 集団面接 3 次試験 個別面接、作文 ③採用予定数 土木若干名
加東市	6/9～6/22	①受験資格 昭和 57 年 4 月 2 日以降に出生し、一級もしくは二級建築士、又は建築施工管理技士の資格を有する方 ②試験概要 1 次試験 SPI3 2 次試験 個別面接 3 次試験 個別面接, 集団討論 ③採用予定数 建築若干名
姫路市	7/10	①受験資格 土木 I (A) : 平成 5 年 4 月 2 日以降に生まれた者 土木 I (B) : 昭和 62 年 (1987 年) 4 月 2 日から平成 5 年 (1993 年) 4 月 1 日までに生まれた人で、令和 5 年 (2023 年) 3 月末日時点において民間企業等 (官公庁を含む。) における正社員としての土木に関する職務経験年数が 3 年以上ある人 建築 I : 昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者 電気 : 昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者 機械 : 昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者 林学 : 平成 5 年 4 月 2 日以降に生まれた者 化学 : 昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者 獣医師 : 昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、獣医師の免許を有する者または令和 5 年 3 月末日までに取得見込みの者 ②試験概要 1 次試験 教養択一 (建築 I、電気、機械以外)、専門択一 (土木 I (B)、獣医師以外)、集団面接 2 次試験 適性検査、事例式課題論文、個別面接 ③採用予定数 土木 I (A) 12 名・I (B) 数名、電気・機械・林学・化学・建築 I・獣医師 各若干名

たつの市	9/18	①受験資格 (高卒以上) 平成 7 年 4 月 2 日以降に生まれた人 (令和 5 年 4 月 1 日 における満年齢が 27 歳までの人) で、土木に関する専門課程を修了して高等学校を卒業した人又は令和 5 年 3 月末までに卒業見込みの人 ②試験概要 1 次試験 教養試験、専門試験、論文、適性検査、集団面接 2 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木若干名
赤穂市	9/18・19	①受験資格 昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、高卒以上または卒業見込のうち、土木職に必要な専門知識を有する人 ②試験概要 1 次試験 教養択一もしくは専門択一、論文、集団面接 2 次試験 個別面接、適性試験 ③採用予定数 土木 5 名程度、機械・電気 1 名程度、建築 1 名程度
豊岡市	9/18	①受験資格 1987 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、高卒以上または卒業見込者 ②試験概要 1 次試験 教養試験、専門試験、作文、適性検査 2 次試験 個人面接 ③採用予定数 土木 3 名程度、建築 1 名程度
丹波市	9/18	①受験資格 次のいずれかに該当する人 (1) 平成 9 年 4 月 2 日以降に生まれた者で学校教育法による高等学校以上の学校で専門課程を修了して卒業した者 (卒業見込者を含む) (2) 平成 4 年 4 月 2 日以降に生まれ、学校教育法による高等学校以上の学校を卒業した人で、市が定める職務に関する資格を有し、かつ職務経験を有する者 (※HP 参照) (3) 平成 4 年 4 月 2 日以降に生まれ、学校教育法による高等学校以上の学校で専門課程を修了して卒業し、かつ職務経験を 3 年以上有する者 ②試験概要 1 次試験 教養試験、適性検査、記述試験 (専門試験の受験者を除く)、 専門試験 (職務経験のない人のみ)、 2 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 1 名程度、建築 2 名程度
洲本市	9/18	①受験資格 平成 7 年 4 月 2 日以降に生まれ、専門課程を修了して卒業した者 (卒業見込者を含む) (社会人経験者) 昭和 57 年 4 月 2 日～平成 7 年 4 月 1 日に生まれた者で、専門課程を修了して卒業した者、かつ職務経験を 3 年以上有する者 ②試験概要 1 次試験 教養択一、専門択一、職場適応性検査 (※経験者は職務基礎力試験と職務適応性検査) 2 次試験 集団討論 3 次試験 個別面接 ③採用予定数 土木、建築 各 2 名 (経験者採用と合わせて)

相生市	9/18・9/19	①受験資格 平成4年4月2日以降に生まれた人（令和5年4月1日における満年齢が30歳までの人）で学校教育法による高等学校以上の学校において土木技術の専門課程を修め、同学校を卒業した人又は令和5年3月に卒業見込みの人（社会人経験者） 昭和57年4月2日以降に生まれた人（令和5年4月1日における満年齢が40歳までの人）で、学校教育法による高等学校以上の学校において土木技術の専門課程を修め、同学校を卒業し、民間企業等で土木の職に関する職務経験が通算して3年以上ある人 ②試験概要 1次試験 教養試験（新卒区分のみ）、適性検査、論文、集団面接 2次試験 集団討論面接、個別面接 ③採用予定数 土木1名程度（社会人経験者採用と合わせて）
高砂市	7/8～7/21	①受験資格 ①平成7年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた人 ②学校教育法による4年制大学・短期大学・高等専門学校で、土木職もしくは機械職に必要な課程を納めて卒業した人又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人 ②試験概要 1次試験 総合適性検査、集団面接 2次試験 個人面接、専門（筆記） 3次試験 個人面接 ③採用予定数 土木4名、機械若干名、電気、機械2名（経験者採用とあわせて）
高砂市 （経験者）	7/8～7/21	①受験資格 ①昭和62年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人 ②学校教育法による4年制大学・短期大学・高等専門学校で、土木職もしくは機械職に必要な課程を修めて卒業した人 ③令和5年3月31日時点において、民間企業等における常時勤務者としての職務経験年数（HP参照）が、大学を卒業した人は通算して3年以上、短期大学または高等専門学校を卒業した人は通算して5年以上ある人（見込み含む） ④電気主任技術者、1級電気工事施行管理技士のいずれかの資格を既に有する者（電気のみ③、④いずれか一方満たせば良い） ②試験概要 1次試験 総合適性検査、集団面接 2次試験 個人面接、専門（筆記） 3次試験 個人面接 ③採用予定数 土木4名、機械若干名、電気、機械2名（通常採用とあわせて）
猪名川町	12/4、12/5	①受験資格 昭和63年（1987年）4月2日以降に出生した人で次の1.2.いずれかの要件を満たす人 1. 学校教育法に定める高等学校以上の学歴で、土木に関する専門課程を修めて卒業した人、又は令和5年3月31日までに卒業見込みの人 2. 次のいずれかの資格を有する人 ア 技術士・技術士補（建設部門・上下水道部門・農業部門に限る。）として登録している人 イ 1、2級土木施工管理技士 ②試験概要 1次試験 総合能力試験（SPI3）、個人面接 2次試験 小論文、個人面接 ③採用予定数 土木1名

稲美町	9/18	①受験資格 昭和62年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた人 ②試験概要 1次試験 教養試験、専門試験、適性検査 2次試験 面接試験 3次試験 面接試験 ③採用予定数 土木2名程度
播磨町	8/11～ 8/31	①受験資格 次の条件をすべて満たす人 ①昭和53年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた人 ②大学院、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校、もしくは高等学校で土木職に必要な課程を修めて卒業した人（卒業見込者を含む） ②試験概要 1次試験 基礎能力試験、事務能力試験 ※テストセンター方式 2次試験 専門試験、適性検査 3次試験 グループワーク 4次試験 個別面接 ③採用予定数 土木 若干名
福崎町	9/18	①受験資格 平成4年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた人で、学校教育法に定める高等学校以上において、土木に関する専門課程を修めて卒業した人又は令和5年3月卒業見込みの人、若しくは土木施工管理技士の資格を有する人 ②試験概要 1次試験 教養試験、専門試験、職場適応性検査 2次試験 口述試験 ③採用予定数 土木2名
神河町	9/18	①受験資格 平成5年4月2日以降に生まれた人で建築に関する専門課程を修めて卒業した人又は令和5年3月に卒業見込みの人 ②試験概要 1次試験 教養試験、専門試験、職場適応性検査 2次試験 口述試験 ③採用予定数 建築1名程度
太子町	7/17	①受験資格 昭和62年4月2日から平成9年4月1日の間に生まれ、学校教育法による大学、高等学校などにおいて、試験職種に関する学科を専攻し卒業した人、又は令和5年3月末日までに卒業見込みの人 ②試験概要 1次試験 口述試験 2次試験 教養試験、適性検査、専門試験 3次試験 個人面接試験 ③採用予定数 土木1名
新温泉町	9/18	①受験資格 昭和57年度4月2日以降に生まれた人で、高等学校以上の学校を卒業した人又は令和5年度3月末日までに卒業見込みの人 ②試験概要 1次試験 教養試験 専門試験 2次試験 口述試験 ③採用予定数 2名程度
佐用町	9/18	①受験資格 平成5年4月2日から平成17年4月1日までに生まれ、高校を卒業した人（令和5年3月卒業見込み含む。） ②試験概要 1次試験 教養試験、専門試験 2次試験 口述試験（集団面接） 3次試験 口述試験 ③採用予定数 土木1名

6. 出題例

【教養択一】

(数的処理・判断推理)

体育館にいた A, B, C、図書館に居た D～G はの計 7 人が次のような発言をしたが、このうちの 2 人の発言が正しく、残りの 5 人の発言は誤っていた。正しい発言をした 2 人の組み合わせとして妥当なのはどれか。ただし、7 人のなかでテニスができるのは 2 人だけである。

- A: 「私はテニスができない」
- B: 「テニスができる 2 人はいずれも図書館にいた」
- C: 「A, B の発言のうち少なくともいずれかは正しい」
- D: 「E はテニスができる」
- E: 「D の発言は誤りである」
- F: 「D, E の発言はいずれも誤りである」
- G: 「図書館にいた 4 人はテニスができない」

- 1 A, C
- 2 A, G
- 3 B, F
- 4 C, E
- 5 E, G

正解 5

(政治経済・法律)

憲法の前文に関しては、具体的な裁判において裁判所は憲法の前文を直接の根拠として判断をすることができるか、という問題がある。次のア～オのうちには否定説が三つあり、残りの二つはそのいずれかへの反論である。否定説と反論の組合せを二つとも正しく示しているのはどれか。

- ア 前文の内容は、憲法の理念ないし目的の表出にすぎない。
- イ 憲法典の中で前文が形式的に本文と区別されていることは、決して偶然のことではない。
- ウ 憲法の本文に規定のない人権もある。
- エ 具体的な裁判においては、憲法の本文の各条項をもってすれば足りる。
- オ 前文の内容の抽象性は、相対的な問題にすぎない。

否定説 反論 否定説 反論

- 1 ア と イ ウ と オ
- 2 ア と ウ エ と オ
- 3 ア と オ エ と イ
- 4 ア と オ エ と ウ
- 5 イ と ウ エ と オ

正解 4

(時事)

国際的な会議や組織、協定に関する記述として最も妥当なのはどれか。

- 1 2015 年、初めての国連防災世界会議が、東日本大震災の発生を契機として宮城県仙台市で開催され、主要国の首脳を始め各国代表らが参加した。同会議は、自然災害のみならず、紛争被災者や難民など世界的な人道危機の効果的な支援を目的としており、2030 年までの新たな国際的な防災の取組指針となる「仙台防災枠組」を採択した。
- 2 2015 年、アジアインフラ投資銀行 (AIIB) の設立協定が調印された。AIIB はアジアのインフラ整備を目的として設立された地域開発金融機関の一つで、アジア、アフリカ諸国に加え米国等の計 57 か国が設立時から参加している。この設立に伴い、1960 年代に日米主導で設立されたアジア開発銀行 (ADB) は世界銀行に統合された。
- 3 2016 年、環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定の署名式が行われた。複数の国による自由貿易協定は、このほかに北米自由貿易協定 (NAFTA) などがある。TPP 協定は、当初、ブルネイ、中国、メキシコ、シンガポールの 4 か国で交渉が開始され、我が国や韓国を含む 12 か国が協定に署名した。
- 4 2016 年、三重県志摩市で主要国首脳会議 (サミット) が開催された。第 1 回サミットは、1975 年に英国首相の提唱により、英国、フランス、旧西ドイツの 3 か国が参加して行われた。伊勢志摩サミット的首脳宣言には、経済、外交、環境対策などが盛り込まれ、地球温暖化対策の国際的枠組みであるウィーン条約について 2016 年中の発効を目指すことも確認された。
- 5 2016 年、国連では、潘基文事務総長の任期満了に伴う後任の事務総長の選出が行われた。今回の事務総長選出では、公開性、透明性を高めるため、総会において候補者との非公式対話が初めて行われ、その後、15 か国で構成される安全保障理事会の勧告に基づき、総会によってアントニオ・グテーレス氏が事務総長に任命された。

正解 5

【専門択一】(数学・物理 (工学の基礎))

$x^2 + axy + by^2 = 1$ (a, b は正の実数) で表される曲線が、行列 $\begin{pmatrix} 2 & 1 \\ 0 & -2 \end{pmatrix}$ で表される一次変換によって円

に変換されるとき、 a 及び b の値の組合せとして正しいのはどれか。

- | | a | b |
|---|---------------|---------------|
| 1 | 2 | $\frac{5}{4}$ |
| 2 | 1 | $\frac{5}{4}$ |
| 3 | 1 | $\frac{3}{4}$ |
| 4 | $\frac{1}{2}$ | $\frac{3}{2}$ |
| 5 | $\frac{1}{2}$ | $\frac{3}{4}$ |

正解 2

(土木職・土質工学)

含水比が 50%で、質量が 210g の土がある。この土に水を加えて含水比を 70%にするには水を何 g 加えたらよいか。

- 1 28g
- 2 30g
- 3 32g
- 4 34g
- 5 36g

正解 1

(建築職・建築構造)

建築物の構造計算で用いる荷重に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

- 1 建築物の各部の積載荷重は、一般的に床設計用<骨組設計用<地震力算定用の関係がある。
- 2 積雪荷重の計算に用いる積雪の単位荷重は、多雪区域以外では積雪量 1 cm ごとに 20N/m² 以上とする。
- 3 建築物に作用する風の速度圧は高所ほど大きく、その値は地盤面からの高さの 2 乗に比例する。
- 4 建築物の地上部分の地震力の算定に用いる地震層せん断力係数は、建築物の上層ほど小さくなる。
- 5 建築物の地下部分に作用する地震力は、一般に地上部分と同様に地震層せん断力係数を用いて算定する。

正解 2

(機械職・流体力学)

20℃の水（動粘度 1.004mm²/s）が、直径 200mm の円管内を 4 m/s の速度で流れている。これと力学的に相似な流れを空気と油の流れで作りたい。

- ・ 20℃の空気（動粘度 15.02mm²/s）を、直径 400mm の円管内を流す場合の流速
- ・ 5℃の油（動粘度 2.85mm²/s）を 22m/s の流速で円管内を流すときの管直径はそれぞれおよそいくらか。

- 1 30m/s 200 mm
- 2 30m/s 103 mm
- 3 54m/s 200 mm
- 4 103m/s 54.4mm
- 5 200m/s 54.4mm

正解 2

(化学職・物理化学)

H—HとC 1—C 1の結合エネルギーは、それぞれ 432kJ/mol, 240kJ/mol であり、H C 1の生成熱は、92. 2kJ/mol である。このとき、H—C 1の結合エネルギーはいくらか。

- 1 672kJ/mol
- 2 580kJ/mol
- 3 428kJ/mol
- 4 336kJ/mol
- 5 244kJ/mol

正解 3

(電気職・電磁気学)

半径 a の球体の内部に体積電荷密度 ρ で一様に電荷が分布している。この球体の内部における、中心からの距離 r ($r \leq a$) の位置での電界の強さはどのように表されるか。ただし、この球体の誘電率を ϵ とする。

- 1 $\frac{r^3 \rho}{3\epsilon}$
- 2 $\frac{r^2 \rho}{3\epsilon}$
- 3 $\frac{r\rho}{3\epsilon}$
- 4 $\frac{\rho}{3\pi a}$
- 5 $\frac{\rho}{3\pi a^2}$

正解 3

(農学職・栽培学汎論)

作物の生産管理に関する次のA～Dの記述のうちから、正しいものを2つ選んでいるのはどれか。

- A 良好な種子の選別に用いられる塩水の比重は、うるち種の水稲では1.13, コムギでは1.22である。
- B 水稲の稚苗は、30～32℃の育苗箱で約3週間育てた、葉齢3～4程度（第1葉を除く）の苗である。
- C ペーパーポットを利用したテンサイの移植栽培法はドイツで開発され、我が国でも盛んに用いられている方法である。
- D 水田では、水稲の出穂後25日ころ、収穫作業を容易にするために落水する。落水があまり早すぎると、登熟不良や品質低下の一因となることがある。

- 1 A, B
- 2 A, C
- 3 A, D
- 4 B, C
- 5 C, D

正解 3

7. 2020～2022 年度実施試験結果

※競争率は、受験者数が示されているものは受験者数（受験者数÷最終合格者）で計算。受験者数が示されていないものは申込者数（申込者数÷最終合格者）で計算しています（競争率が高めに算出されます。）

(1) 国家総合職

① 院卒者試験

	区 分	申込者数	受験者数	1次 合格者数	最終 合格者数	競争率	採用 予定数
デジタル	2022	60	45	44	28	1.4	25
工学	2022	365	265	217	149	1.8	85
	2021	394	302	267	180	1.6	90
	2020	438	262	218	132	1.9	100
数理科学 物理 地球科学	2022	158	111	70	38	3.0	20
	2021	147	99	81	43	2.3	20
	2020	179	125	90	46	2.7	20
化学 生物 薬学	2022	305	222	116	60	3.7	30
	2021	270	200	130	69	2.8	35
	2020	319	193	110	58	3.3	30
農業科学 水産	2022	174	141	122	79	1.8	35
	2021	153	127	120	77	1.6	30
	2020	165	87	82	45	1.9	30
農業農村 工学	2022	17	15	15	10	1.5	5
	2021	14	13	13	12	1.08	5
	2020	25	16	14	9	1.7	5
森林 自然環境	2022	108	96	86	54	1.8	25
	2021	90	74	72	47	1.5	25
	2020	95	61	60	39	1.6	25

② 大卒程度試験

	区 分	申込者数	受験者数	1次 合格者数	最終 合格者数	競争率	採用 予定数
デジタル	2022	147	107	81	47	2.2	20
工学	2022	1,200	906	388	195	4.6	70
	2021	1141	891	443	223	3.9	85
	2020	1,386	773	426	292	2.6	75
数理科学 物理 地球科学	2022	162	115	32	16	7.2	10
	2021	194	152	54	28	5.4	10
	2020	208	127	53	23	5.5	10
化学 生物 薬学	2022	381	283	44	23	12.3	10
	2021	387	311	53	27	11.5	15
	2020	463	264	58	31	8.5	15
農業科学 水産	2022	428	370	217	114	3.2	30
	2021	416	352	163	89	3.9	30
	2020	481	253	141	81	3.1	25

農業農村工学	2022	163	146	115	64	2.3	20
	2021	159	143	117	63	2.2	25
	2020	198	114	87	52	2.2	20
森林 自然環境	2022	227	186	71	38	4.9	15
	2021	221	190	62	34	5.5	10
	2020	217	132	56	33	4.0	10

(2) 国家一般職

	区 分	申込者数	受験者数	1次 合格者数	最終 合格者数	競争率	採用 予定数
デジタル 電気 電子	2022	487	318	292	214	1.5	250
	2021	445	303	270	187	1.6	250
	2020	427	240	203	136	1.8	250
機械	2022	312	191	173	126	1.5	130
	2021	280	179	167	126	1.4	120
	2020	293	182	160	106	1.7	110
土木	2022	1,193	891	822	581	1.5	430
	2021	1159	904	814	538	1.6	410
	2020	1,200	709	624	306	2.3	320
建築	2022	160	107	99	65	1.6	90
	2021	181	138	132	78	1.7	100
	2020	201	99	95	46	2.2	80
物理	2022	314	211	195	157	1.3	190
	2021	278	188	162	130	1.4	170
	2020	303	204	180	129	1.6	150
化学	2022	541	350	308	217	1.6	130
	2021	523	344	308	215	1.6	110
	2020	557	304	271	177	1.7	70
農学	2022	762	603	562	377	1.6	170
	2021	756	590	516	331	1.7	150
	2020	766	437	361	190	2.3	100
農業 農村 工学	2022	184	152	137	79	1.9	50
	2021	204	159	152	87	1.8	40
	2020	206	125	121	46	2.7	40
林学	2022	439	347	331	241	1.4	110
	2021	416	341	320	219	1.5	90
	2020	388	245	273	124	2.0	80

(3) その他の国家公務員等

区分		申込者数	受験者数	1次 合格者数	最終 合格者数	競争率	採用 予定数
労働基準監督官 (B 理工系)	2022	668	409	379	144	2.8	40
	2021	669	未公開	368	160	4.2	50
	2020	747	355	307	118	3.0	45

食品衛生監視員		2022	402	274	168	104	2.6	45
		2021	377	245	148	91	2.6	25
		2020	351	351	127	77	4.6	25
国立大学法人（近畿地区）	電気	2022	7	2	1		2	3※
		2021	18	12	9		1.3	5※
		2020	14	6	2		3.0	3
	機械	2022	23	12	9		1.3	4
		2021	14	7	2		7.0	4※
		2020	18	10	6		1.7	2※
	土木	2022	0					0
		2021	5	4	3		1.7	※
		2020	5	2	2		1.0	※
	建築	2022	16	9	7		1.3	4
		2021	15	13	12		1.3	4※
		2020	12	7	5		1.4	2※
	化学	2022	9	7	7		1	1※
		2021	20	15	13		1.5	※
		2020	15	11	9		1.2	※
	物理	2022	2	1	1		1.0	1※
		2021	7	7	5		1.4	※
		2020	3	1	1		1.0	※
	電子・情報	2022	11	8	7		1.1	2※
		2021	3	1	1		3.0	2※
		2020	8	5	4		1.3	1※
	資源・工学	2022	0	－	－	－	－	0
		2021	－	－	－	－	－	※
		2020	－	－	－	－	－	－
	農学	2022	17	13	13		1.0	2
		2021	6	5	3		2.0	※
		2020	5	3	3		1.0	※
	林学	2022	0	－	－		－	0
		2021	10	9	7		1.4	1※
		2020	5	0	0		－	※
	生物・生命科学	2022	6	2	2		1.0	2※
		2021	7	4	2		3.5	※
		2020	21	12	8		1.5	※

・競争率＝申込者数÷一次合格者数

・採用予定数は一次合格発表の直前または直後に近畿幾実施委員会の HP に掲載されたもの。

採用予定数に変更が生じることがありますので、実際的人数はHP をご確認ください。

・「※」電気、機械、土木、建築、化学、物理、電子・情報、資源工学、農学、林学生命科学のいずれかから採用予定。

・2021 年は※から 4 人採用

・「※」大阪大学は、理学研究科技術部における広報情報推進室及び教育研究支援室に関する以下の業務 については、「電気」「化学」「物理」「電子・情報」「生物・生命科学」の 5 区分から 1 名の採用を予定

(4) 2022 年度試験実施結果

【大阪府】（5 月実施 大学卒程度）

区 分	受験者数	1 次 合格者数	2 次 受験者数	最終 合格者数	倍率
土 木	61	48	33	29	2.1
建 築	28	24	17	11	2.5
機 械	14	11	9	6	2.3
電 気	11	7	6	4	2.8
環 境	26	23	18	12	2.2
農 学	20	14	13	6	3.3
農業工学	14	14	11	5	2.8
林 学	15	13	12	6	2.5

【大阪市】（大学卒程度）

区 分	受験者数	1 次合格者数	最終合格者	倍率
都市建設	67	45	35	1.9
建 築	43	37	18	2.4
機 械	14	11	8	1.8
電 気	19	16	12	1.6
化 学	14	12	8	1.8
造 園	12	9	7	1.7

【堺市】（大学卒程度/4 月・6 月実施）

区 分	受験者数	1 次合格者数	最終合格者数	倍率
土 木	77	37	14	1.5
建 築	23	10	3	7.7
機 械	6	5	3	2.0
電 気	3	2	0	0
化 学	6	5	1	6.0

【兵庫県】

区 分	受験者数	1 次合格者数	最終合格者数	倍率
農 学	49	不明	17	2.9
林 学	9	不明	5	1.8
水 産	14	不明	1	14.0
環境科学	16	不明	3	5.3
総合土木	21	不明	11	1.9
建 築	7	不明	5	1.4
機 械	10	不明	3	3.3
電 気	4	不明	3	1.3

【神戸市】

区 分	受験者数	1次合格者数	2次合格者	最終合格者数	倍率
土 木	15	14	9	5	3.0
建 築	2	1	1	1	2.0
電 気	1	1	1	－	－
機 械	4	3	2	1	4.0
化 学	3	3	2	－	－
生 物	6	5	1	－	－
環 境	2	1	1	－	－
農 業	5	4	2	2	2.5
造 園	4	4	4	3	1.3
獣 医	2	2	2	2	1.0
畜 産	2	2	2	1	2.0
水 産	－	－	－	－	－
生命科学	1	1	－	－	－
薬 学	4	3	2	1	4.0

【京都府】

区 分	受験者数	1次合格者数	最終合格者数	倍率
電気・電子工学（知事部局）	3	1	1	3.0
電気・電子工学（警察）	0	－	－	－
機 械	1	1	1	1.0
総合土木	14	5	2	7.0
建 築	5	4	4	1.3
化学	11	6	3	3.7
農 業	25	21	13	1.9
畜 産	2	2	1	2.0
林 業	12	9	6	2.0
水 産	9	9	5	1.8
環 境	3	2	2	1.5
薬剤師Ⅰ	8	8	6	1.3
獣医師	3	3	2	1.5

【京都市】

区 分	受験者数	1次合格者数	最終合格者数	倍率
土 木	9	7	5	1.8
建 築	9	8	7	1.3
電 気	6	5	2	3.0
機 械	5	5	2	2.5
化 学	5	3	3	1.7
造園	1	1	1	1.0

蓄水産	44	5	1	44.0
農業	6	3	1	6.0
農林整備	2	2	2	1.0
環 境	6	4	2	3.0

【滋賀県】

区 分	受験者数	1次合格者数	最終合格者数	倍率
化 学	7	5	3	2.3
農 業	21	16	9	2.3
林 業	7	6	5	1.4
水産	13	4	2	6.5
建 築	10	6	6	1.7
電 気	8	4	4	2.0
機 械	2	1	1	2.0
総合土木	12	10	7	1.7

【奈良県】

区 分	受験者数	1次合格者数	最終合格者数	倍率
総合土木	11	2	1	11.0
造 園	1	0	－	－
建 築	6	1	－	－
設 備	4	4	3	1.3
化 学	6	5	3	2.0
農 学	10	9	6	1.7
林 学	8	8	6	1.3

【和歌山県】

区 分	受験者数	1次合格者数	最終合格者数	倍率
総合土木	13	12	10	1.3
建 築	4	3	3	1.3
電 気	2	2	2	1.0
機 械	3	3	1	3.0
化学A	3	3	1	3.0
化学B	9	6	1	9.0
農 学	25	24	10	2.5
林 学	5	5	4	1.3
水 産	9	7	2	4.5

【 Memo 】



公務員



公務員試験受験生のみなさん。

関西公務員 受験生応援ブログ って知ってますか？

「関西公務員受験生応援ブログ」は、毎日更新されていて、最新の公務員試験対策のための情報が手に入る情報発信ブログです。LECの公務員講座受講生の方に限らず、全受験生必見の情報が満載です。ぜひ、このブログをチェックして、公務員受験に有利な情報を手に入れましょう！！

ブログ掲載内容 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

<全受験生対象> ○K太郎による公務員試験分析(平日毎日) ○LEC公務員講座担当講師による受験生向けメッセージ
<LEC受講生対象> ○模擬面接の日程 ○担任進路相談の日程 ○担任によるホームルームの日程
○合格者アドバイザーイベントの日程 ○各種講座情報

<http://lecumedaekimae.blog37.fc2.com/>

携帯電話からは右のQRコードでアクセスしてください! ▶▶▶



Twitter LEC関西公務員ブログ

https://twitter.com/LEC_kansai

こちらも
要チェック♪



Facebook LEC関西公務員応援ブログ

<http://www.facebook.com/lec.koumuin.kansai>

LEC 東京リーガルマインド

梅田駅前本校 京都駅前本校 神戸本校 難波駅前本校

☎ 06-6374-5001 ☎ 075-353-9531 ☎ 078-325-0511 ☎ 06-6646-6911

【LEC関西公務員受験生応援ブログ】 <http://lecumedaekimae.blog37.fc2.com/>

毎日更新!
公務員ブログ

携帯・スマホからの
アクセスはこちらから!



直接アクセスはコチラ↓↓
<http://lecumedaekimae.blog37.fc2.com/>

この広告物の内容は発行日現在のものであり、事前の予告なしに変更する場合がありますので予めご了承下さい。
著作権者 東京リーガルマインド (C) 2017 TOKYO LEGAL MIND K.K., Printed in Japan 無断複製・無断転載等を禁じます。